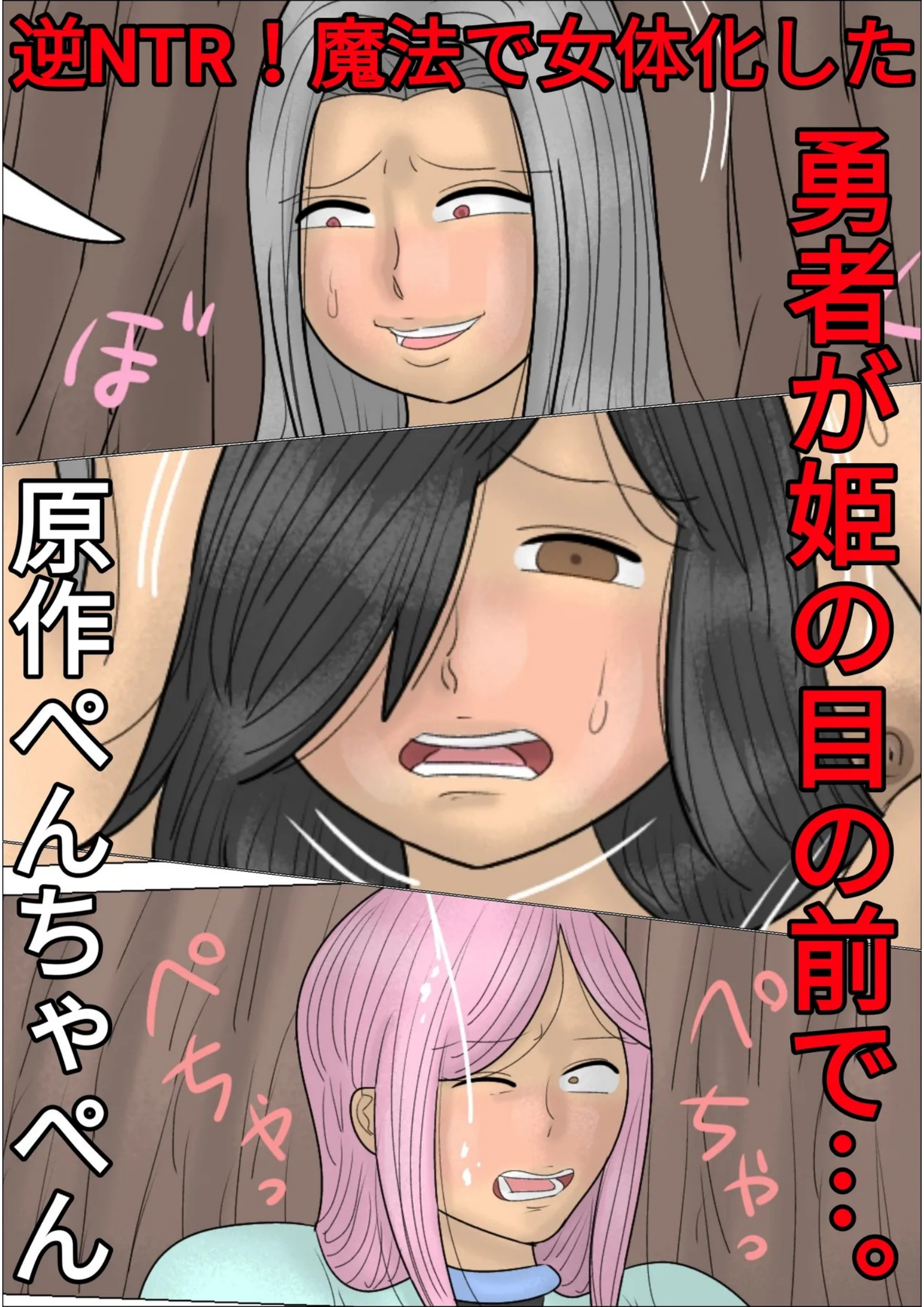
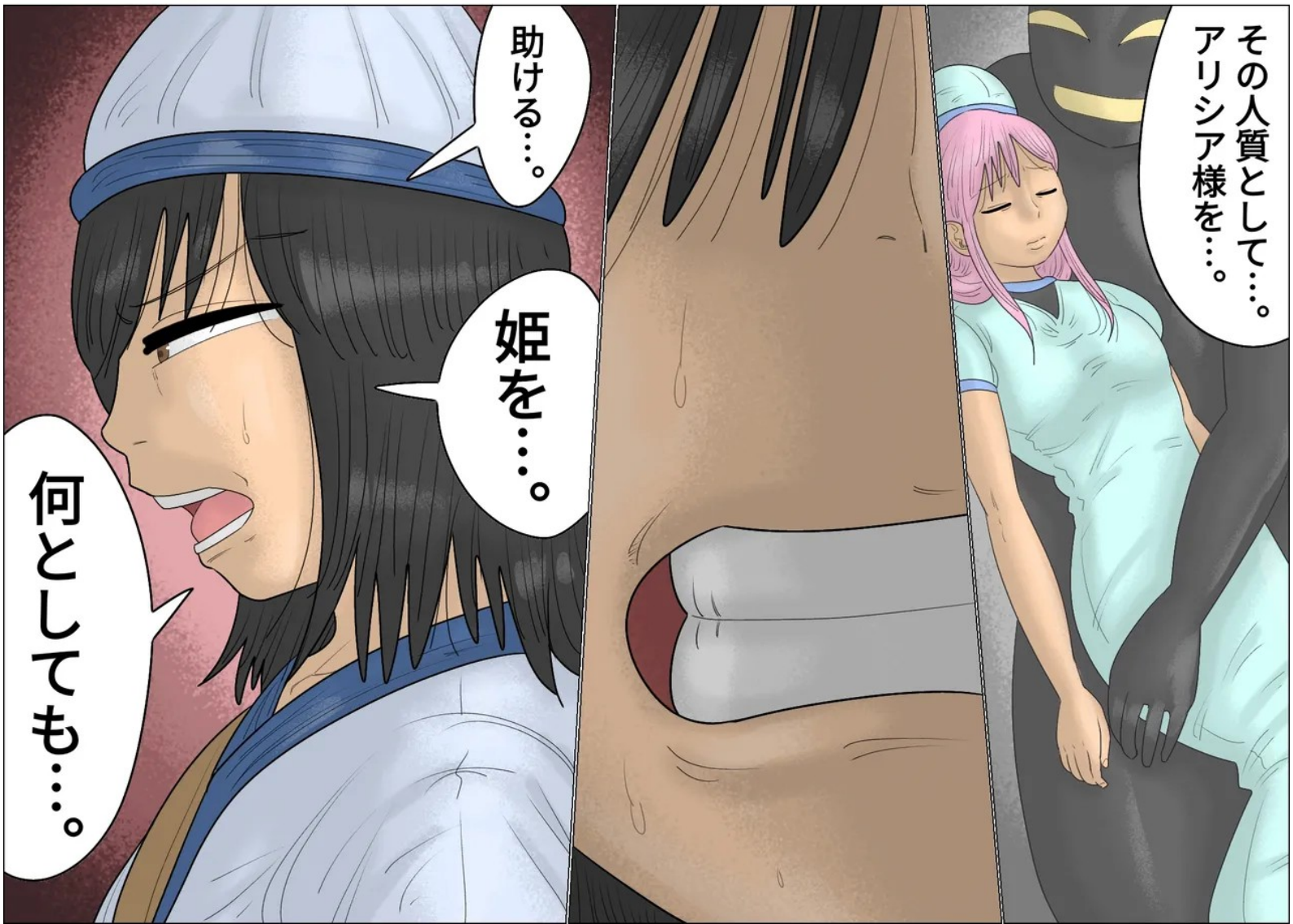

逆NTR！魔法で女体化した
勇者が姫の目の前で…。
ぽ〃
原作ぺんちゃぺん
ぺちゃっ
ぺちゃっ

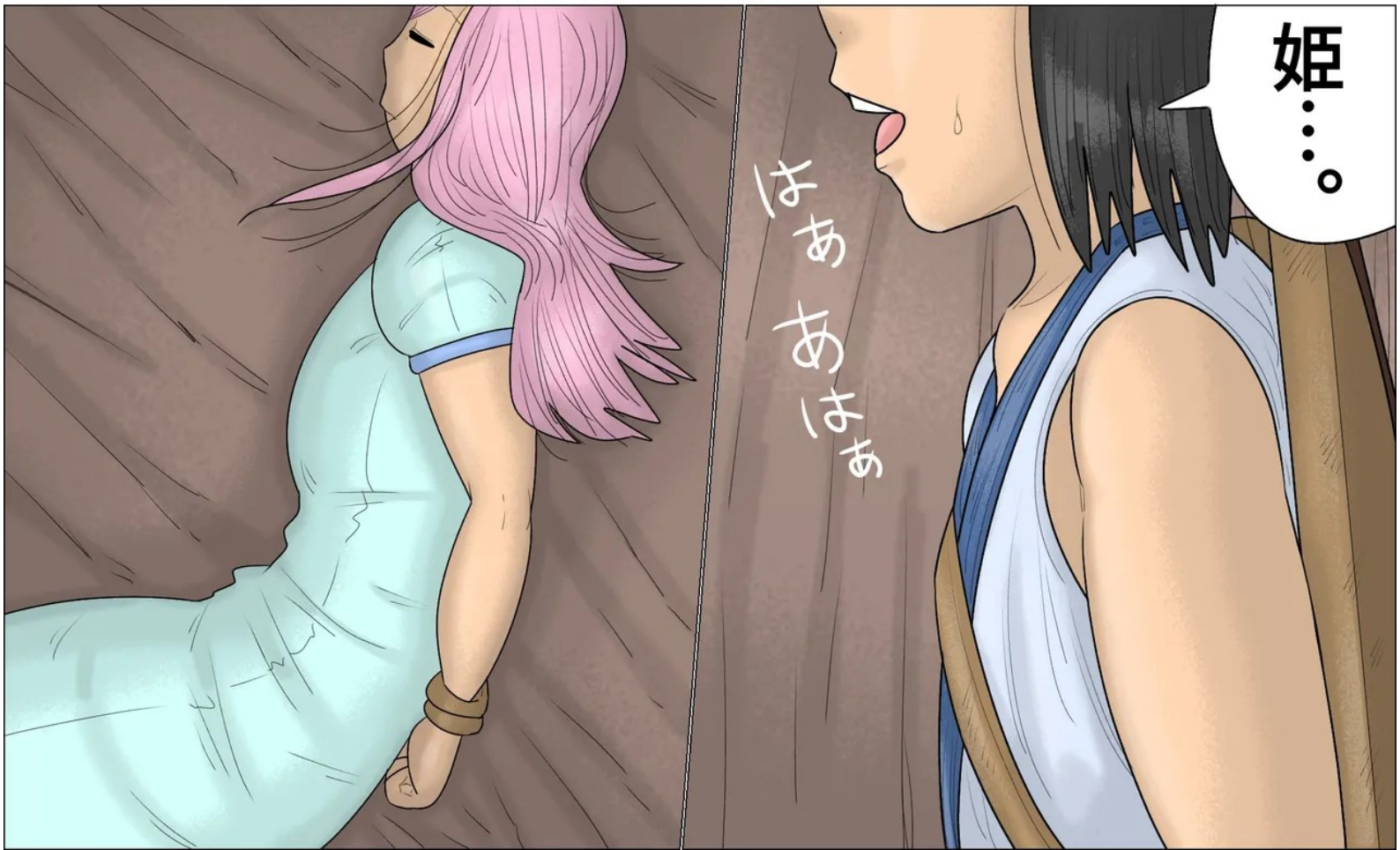
姫…アリシア様とは…。
幼子からの付き合いだった…。
姫…そんなことしたら危ないです…。
勇者見習い
エイト
エイト…。
これなんだろうね？
アバランチャ国
姫アリシア
ちょんっ
ガサッ
ザザッ

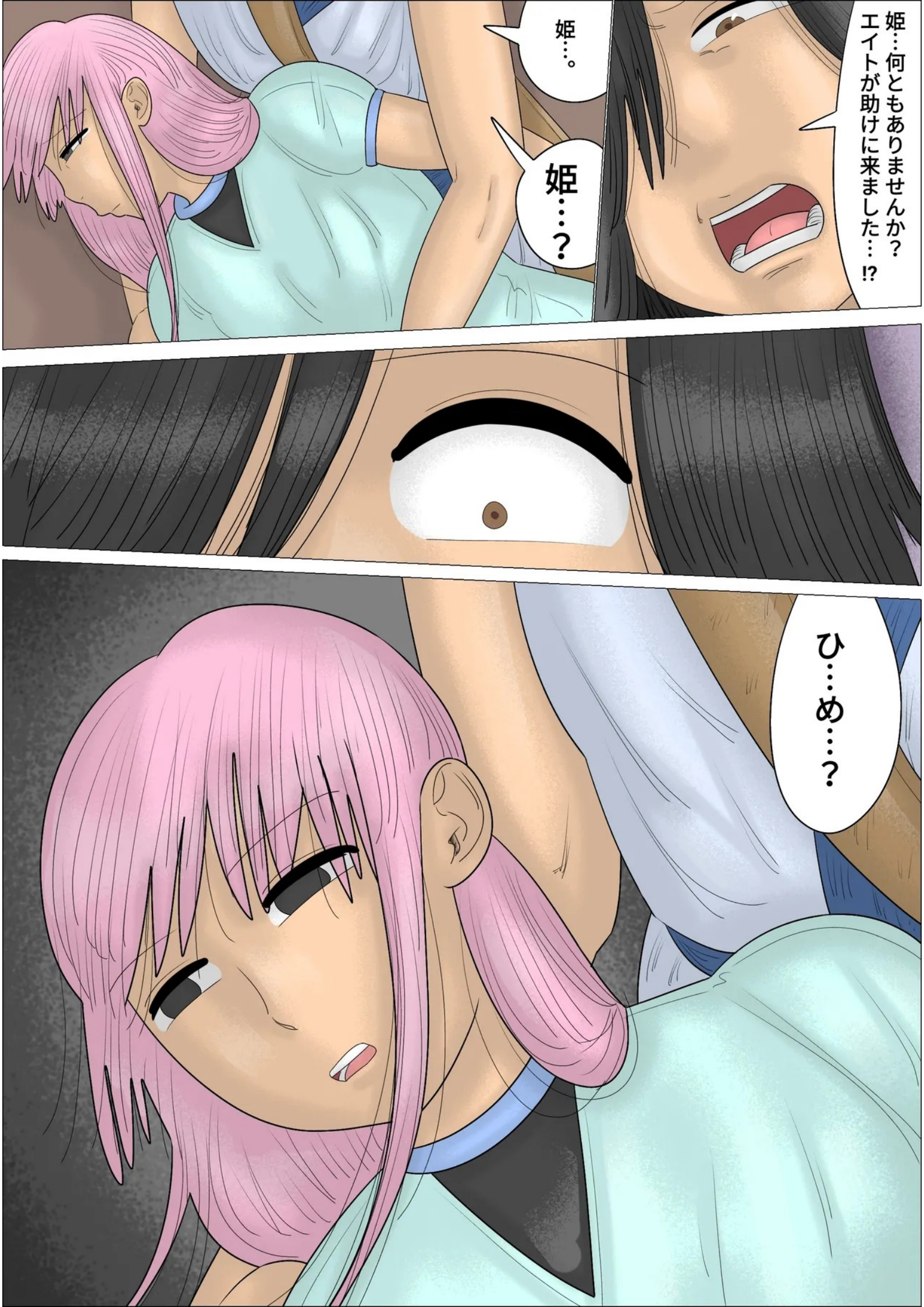
エイトいっつも剣降ってばっかり。
そんなに楽しいの？
私には、姫を守るという使命がありますので。
ハア
ハア
私は…。姫を守るために…。
毎日…剣術を磨いてきた…。
ブンッ

え…姫が…。
魔女たちに
さらわれた…？
ええ…。魔女たちは
アバランチャ国を
乗っ取ろうとしています。


その人質として…。
アリシア様を…。
助ける…。
姫を…。
何としても…。

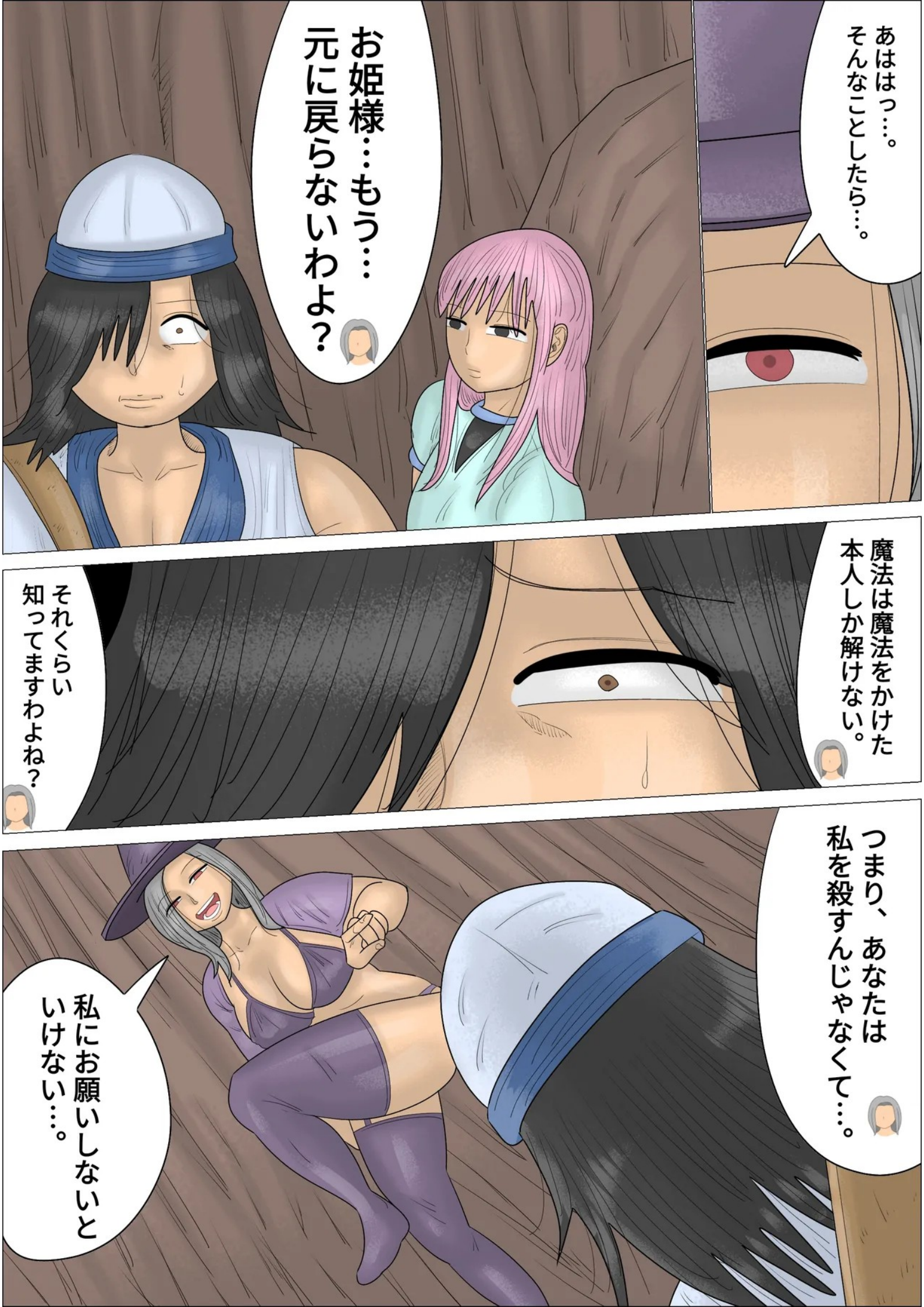
そして…。
姫が囚われている
魔女のアジトに…。
たどり着いたの
だった…。
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ

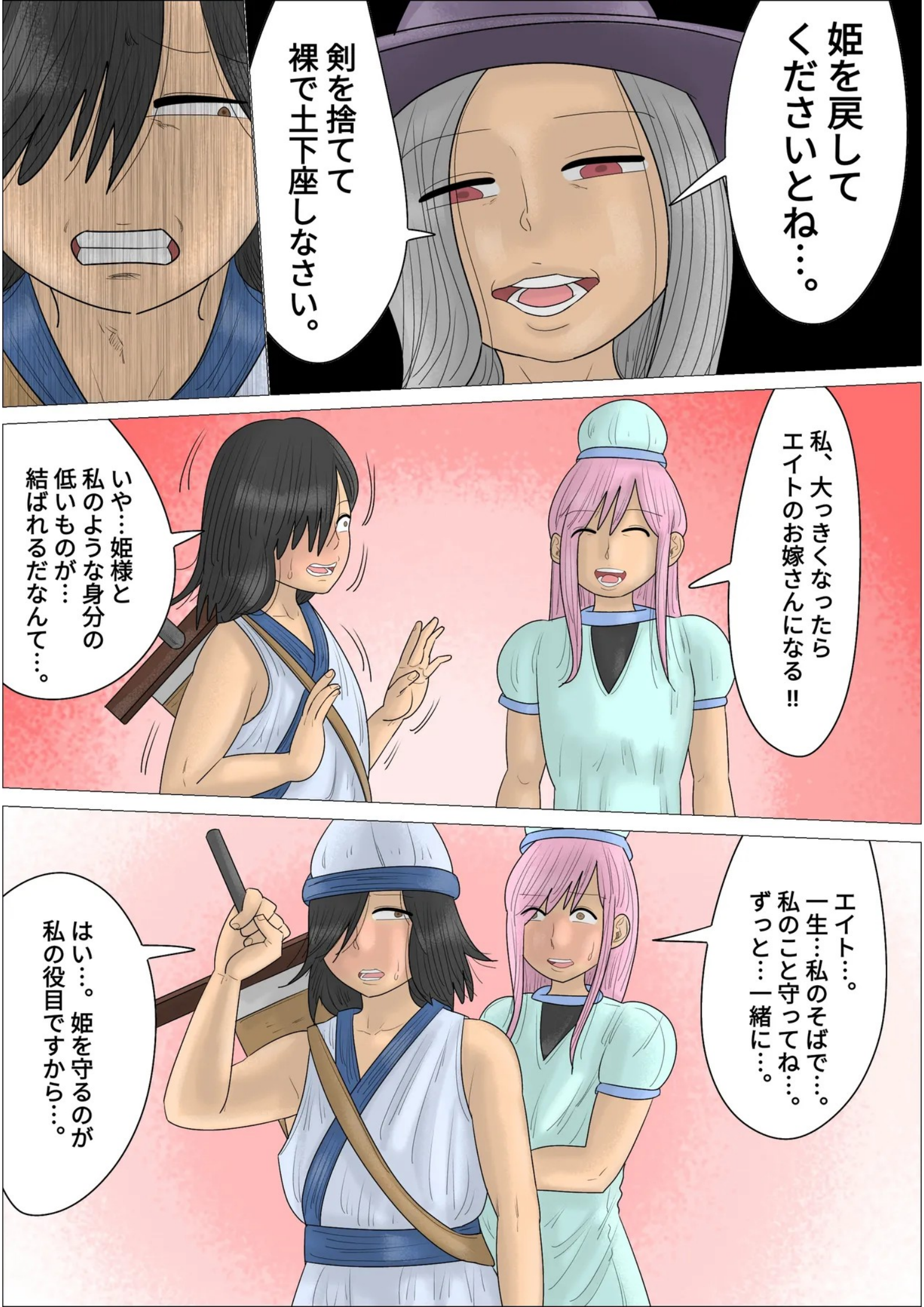

姫…。
はぁ
あはぁ


姫…何ともありませんか？
エイトが助けに来ました…!?
姫…。
姫…？
ひ…め…？

アリシア姫の魂は
抜き取らせて
いただきましたわ…。
姫にはアバランチャ国を
我々の属国にするための
材料になってもらいます…。
フフ～…
フフ～～…
クソ…。
卑怯者め…。
魔女ガウマガ

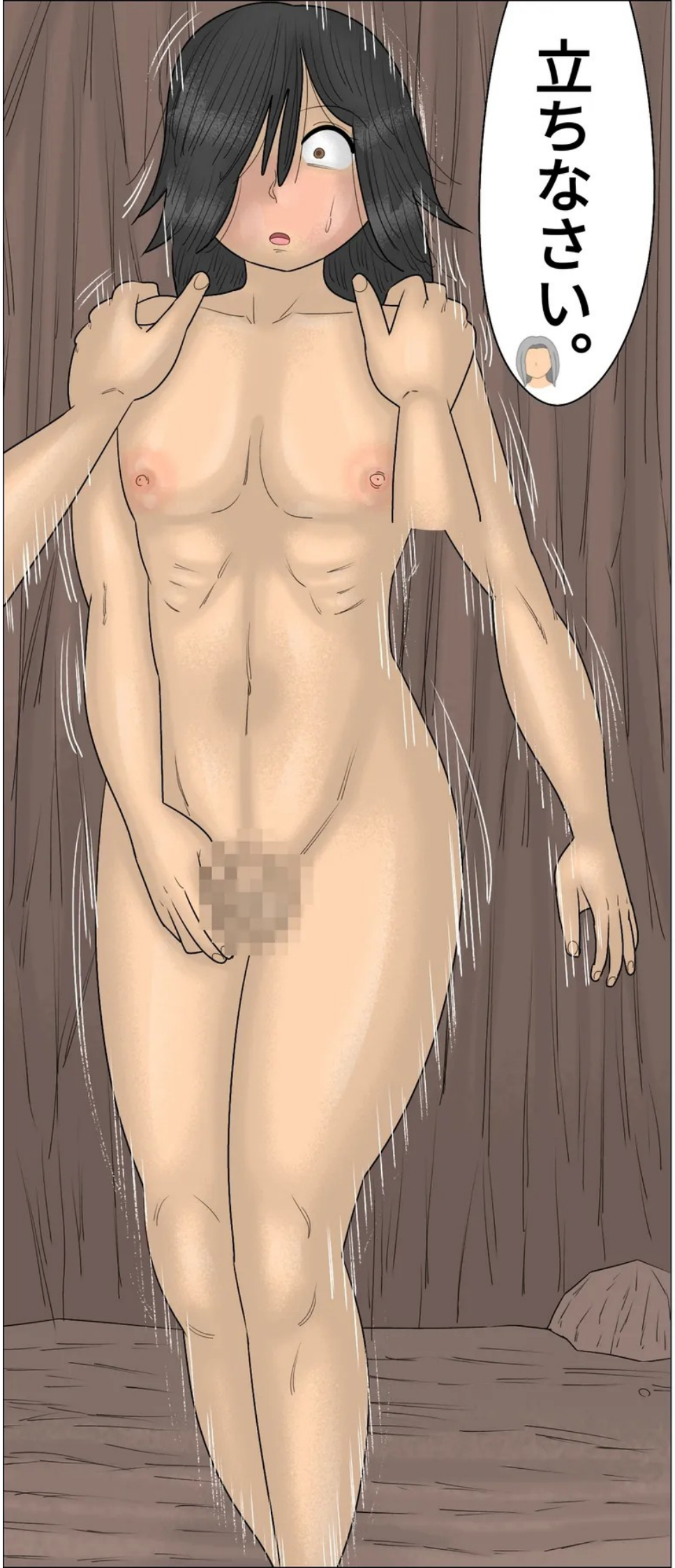
姫を元に戻せ…。
しないと、お前を殺す…。
へえ～あなたに
そんなことが
できるのかしら？笑
俺は本気だ…。
剣術を幼い頃から
磨いてきた…。
一瞬でお前の首を
はねることができる…。


あははっ…。
そんなことしたら…。
お姫様…もう…
元に戻らないわよ？
魔法は魔法をかけた
本人しか解けない。
それくらい
知ってますわよね？
つまり、あなたは
私を殺すんじゃなくて…。
私にお願いしないと
いけない…。


姫を戻してくださいとね…。
剣を捨てて裸で土下座しなさい。
私、大っきくなったらエイトのお嫁さんになる!!
いや…姫様と私のような身分の低いものが…結ばれるだなんて…。
エイト…。一生…私のそばで…。私のこと守ってね…。ずっと…一緒に…。
はい…。姫を守るのが私の役目ですから…。

私の役目は…。
姫を守ることだ…。
どんなことをしても…。
頼む…。
姫を…。
元に戻してくれ…。

あらあら、誇り高き勇者が無様になったものね笑
グイッ
勇者だからどれほど立派なおちんちんかと思ったら…。
随分とちっちゃくて可愛いものをお持ちなのねえ～笑
うるさいっ…。これでいいだろ…。
早く姫の魂を元に戻せ。

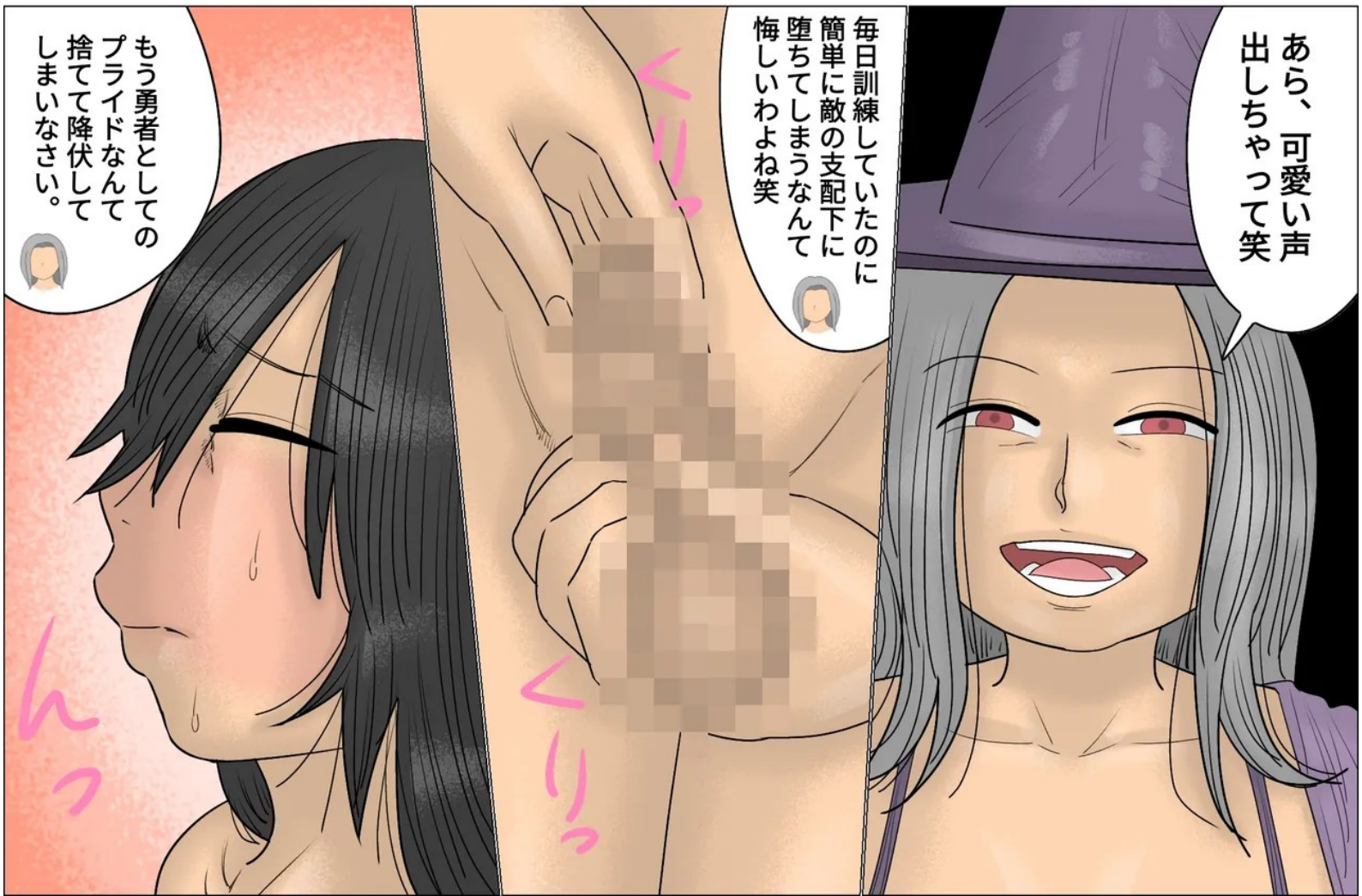

立ちなさい。

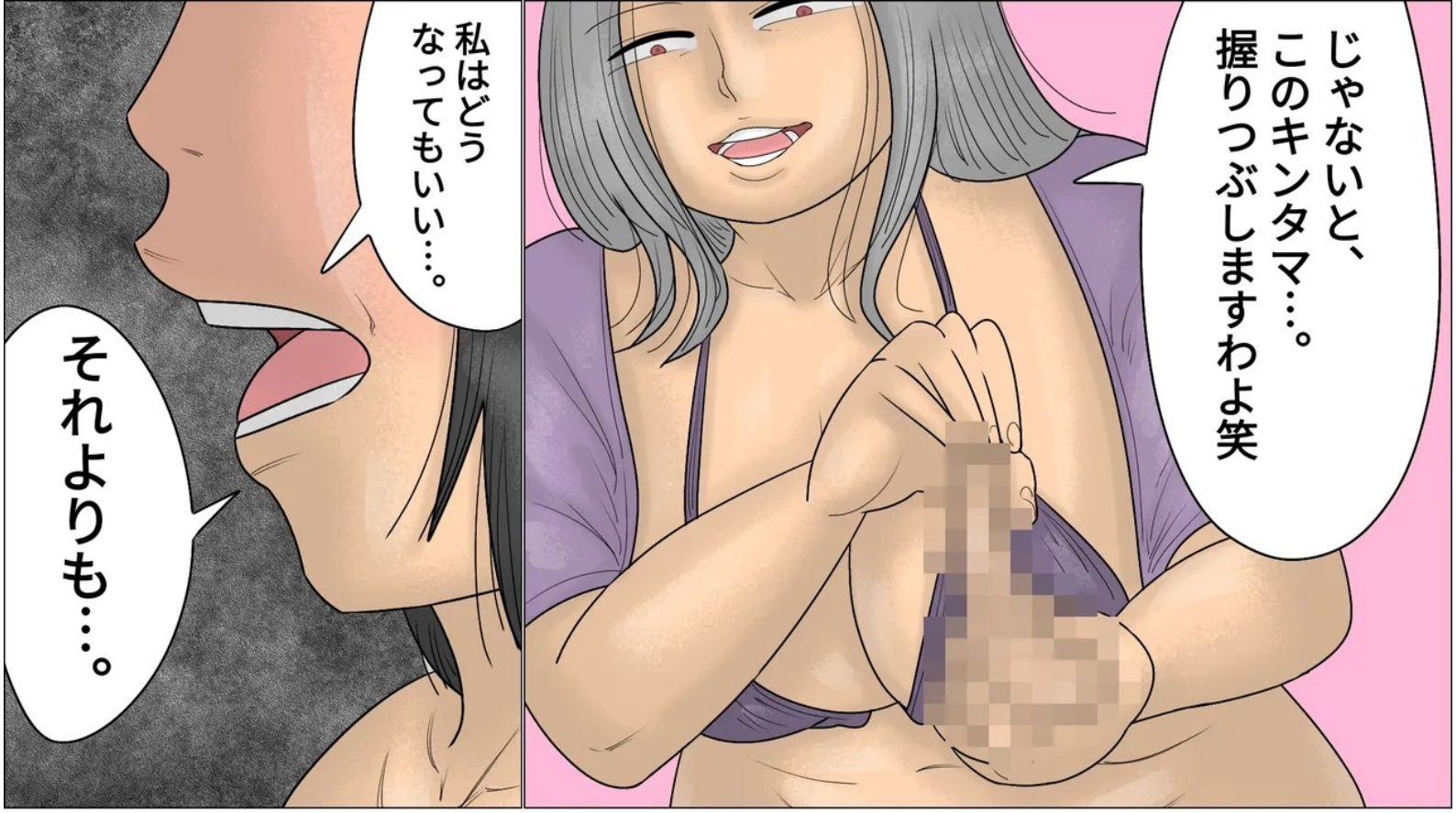
気が変わっちゃった笑

元に戻そうかと思ってたのに
あなたのその傲慢な態度
見てたらやる気がなくなったわ。

その態度、改めたら
姫を元に戻してあげるわ。
くっ…。

あっ…!?
ぎゅっ

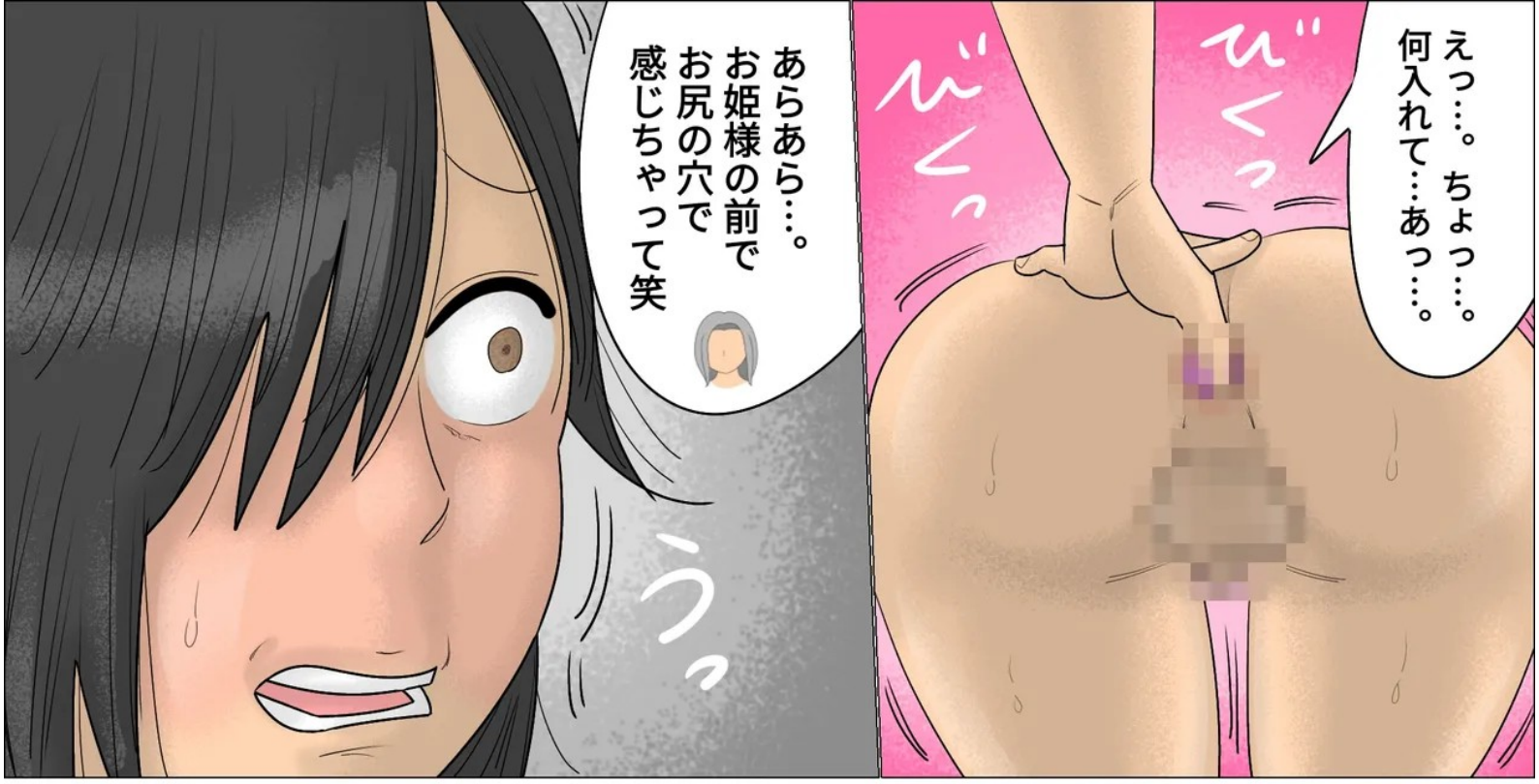

あら、可愛い声出しちゃって笑
毎日訓練していたのに簡単に敵の支配下に堕ちてしまうなんて悔しいわよね笑
くりっ
くりっ
もう勇者としてのプライドなんて捨てて降伏してしまいなさい。
んっ

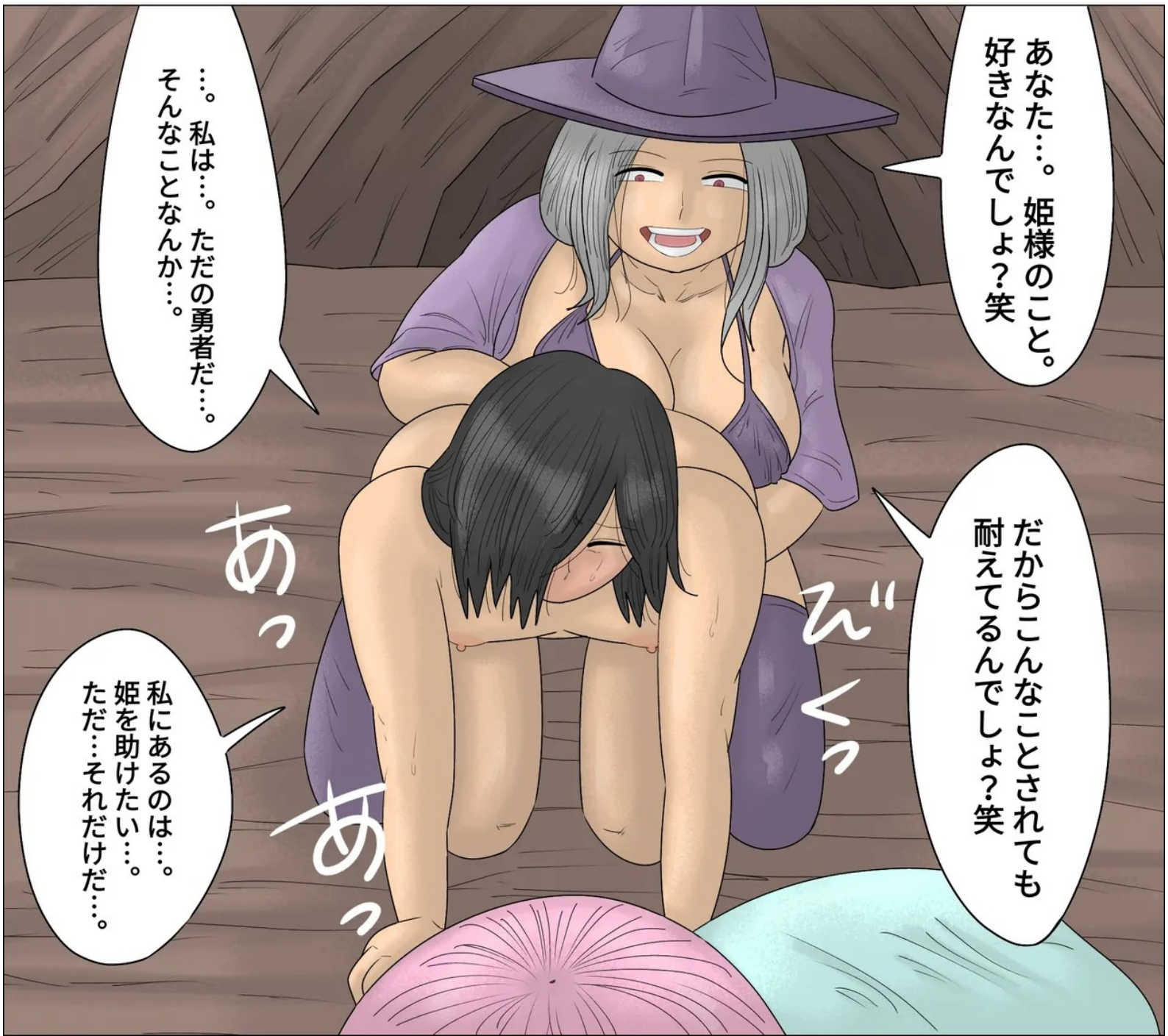

じゃないと、
このキンタマ…。
握りつぶしますわよ笑
私はどう
なってもいい…。
それよりも…。

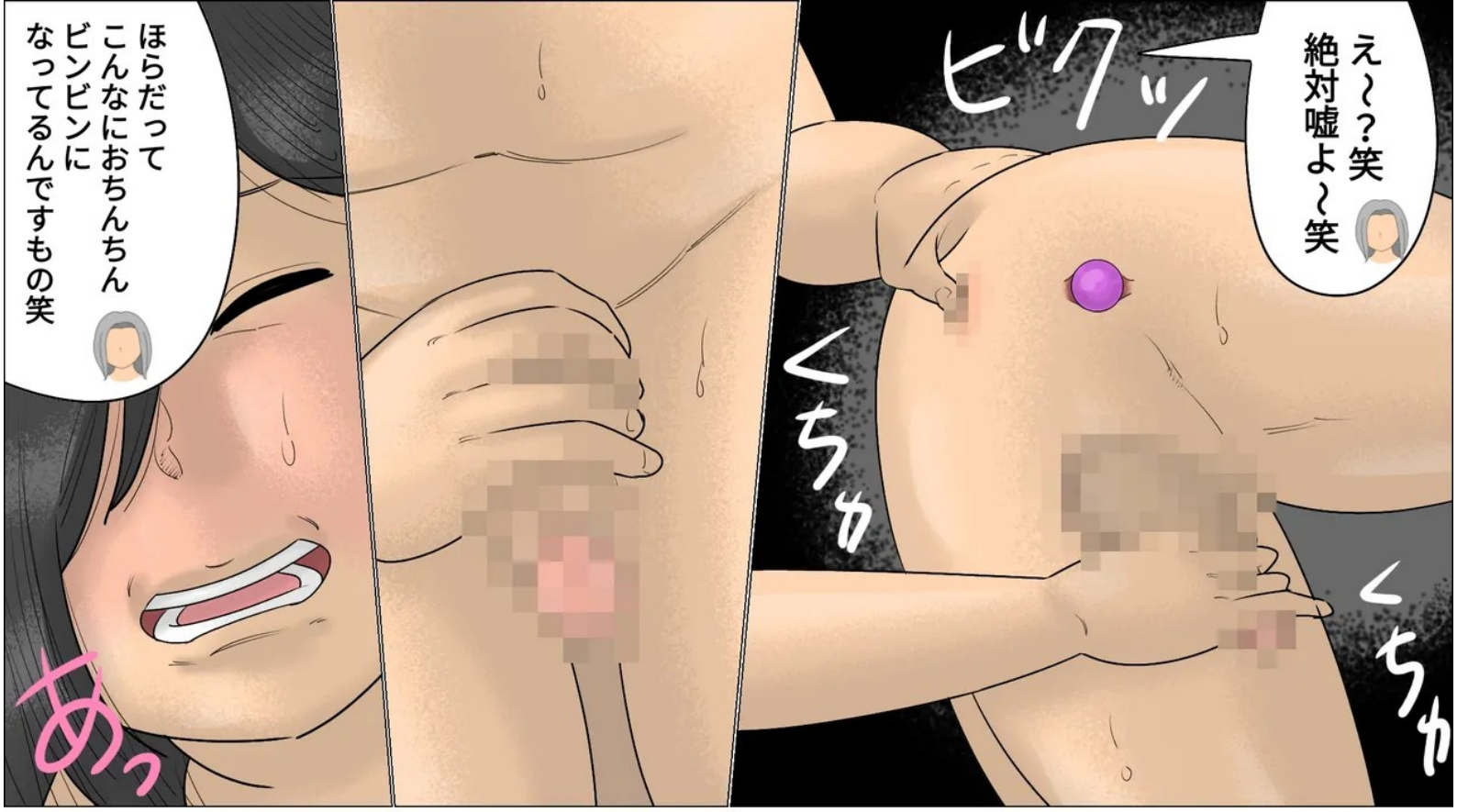
姫を…。
元に戻してくれ…。
頼む…。
ほっ笑
あっ
どふっ

うふふ笑
強い男の子の精神を
ズタズタにするには
金蹴りが一番
効きますのよね。
あっはっはっはっ。
うふふ笑、最高ですわね。
股間を押さえながら
痛みを我慢してる表情…笑
うっ…
お姫様の前で
私に逆らえないように
してあげますわ笑

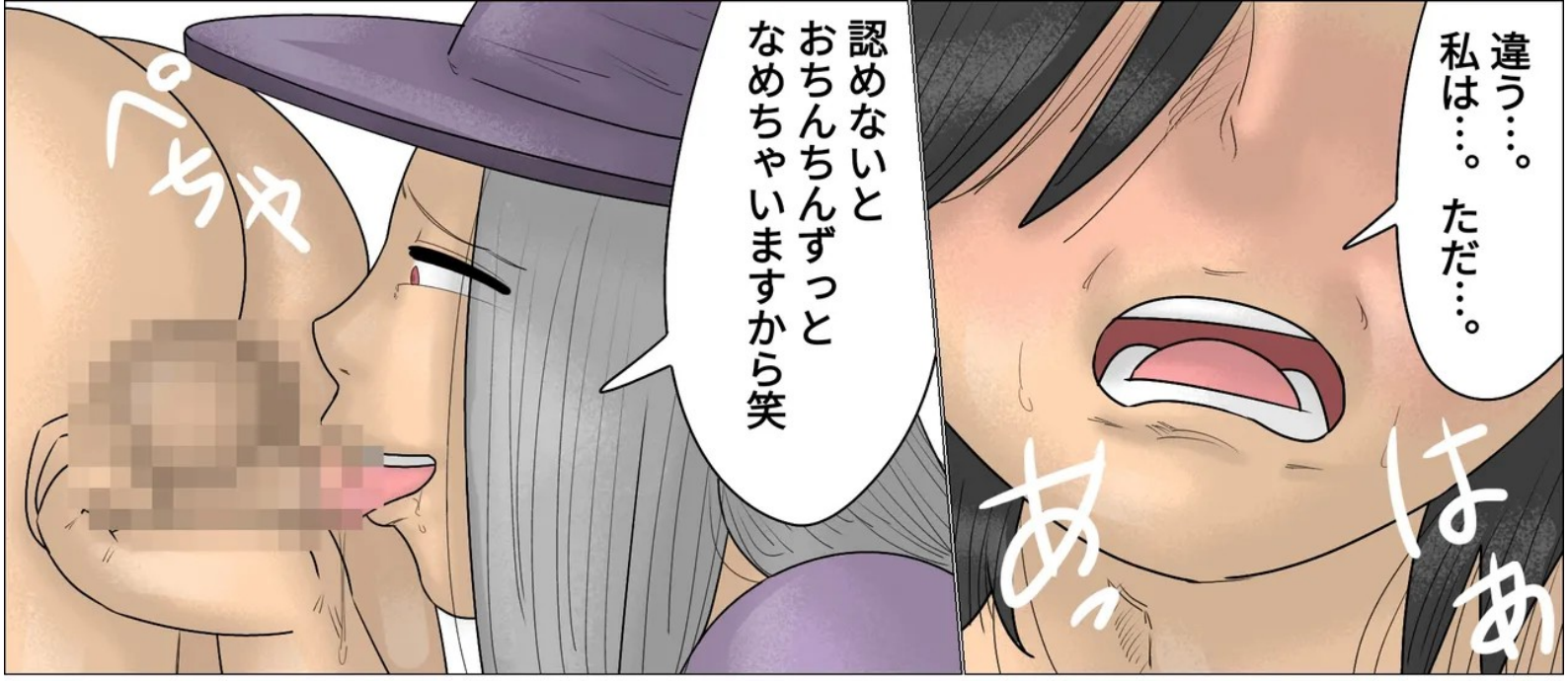
うっ…。
どこ触って…。
あっ
動かないでね笑
お姫様を助けるため
ですわよ？笑


えっ…。ちょっ…。
何入れて…あっ…。
びくっ
びくっ
あらあら…。
お姫様の前で
お尻の穴で
感じちゃって笑
うっ

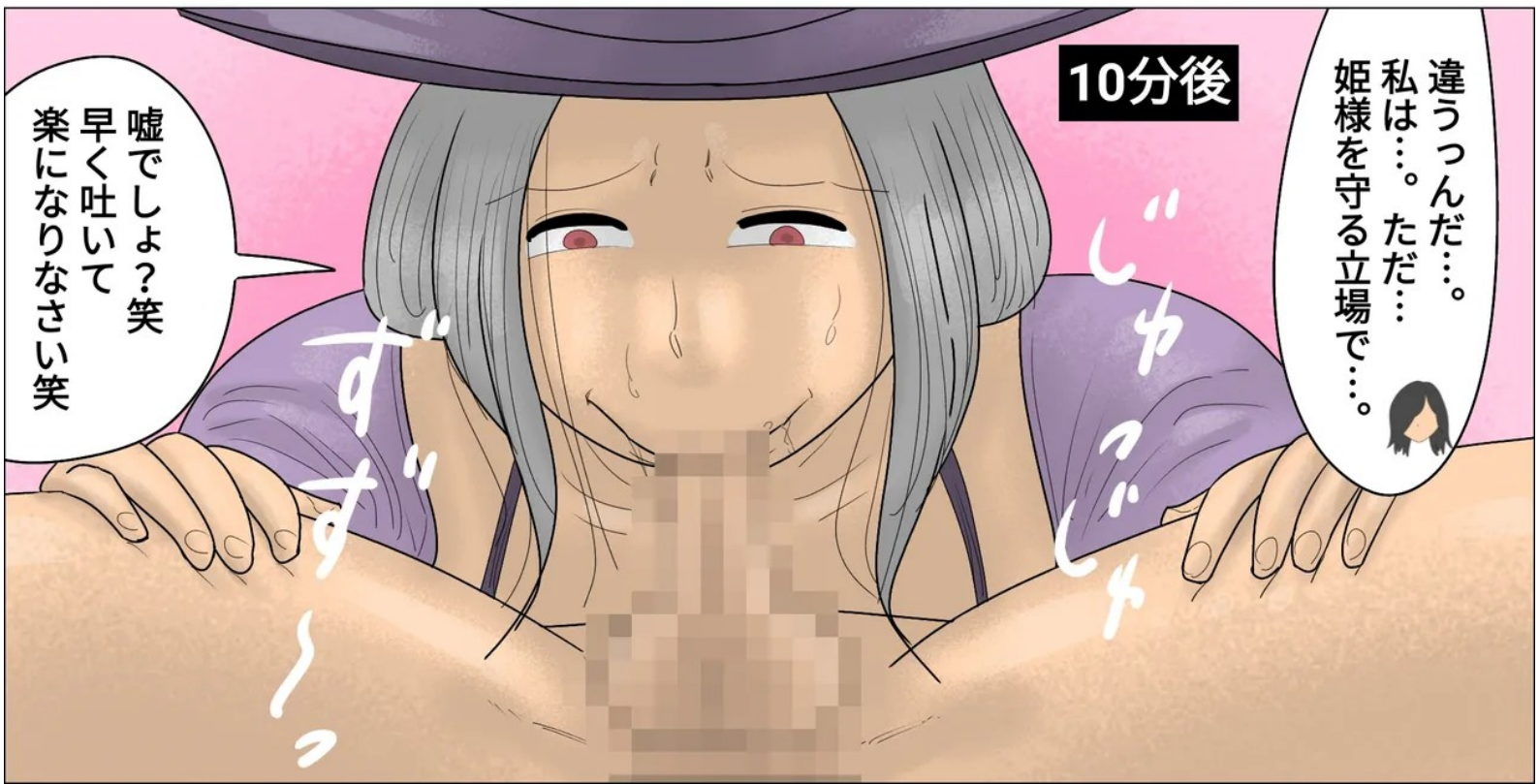

あなた…。姫様のこと。
好きなんでしょ?笑
…。私は…。ただの勇者だ…。
そんなことなんか…。
だからこんなことされても
耐えてるんでしょ?笑
びくっ
あっ
あっ
私にあるのは…。
姫を助けたい…。
ただ…それだけだ…。

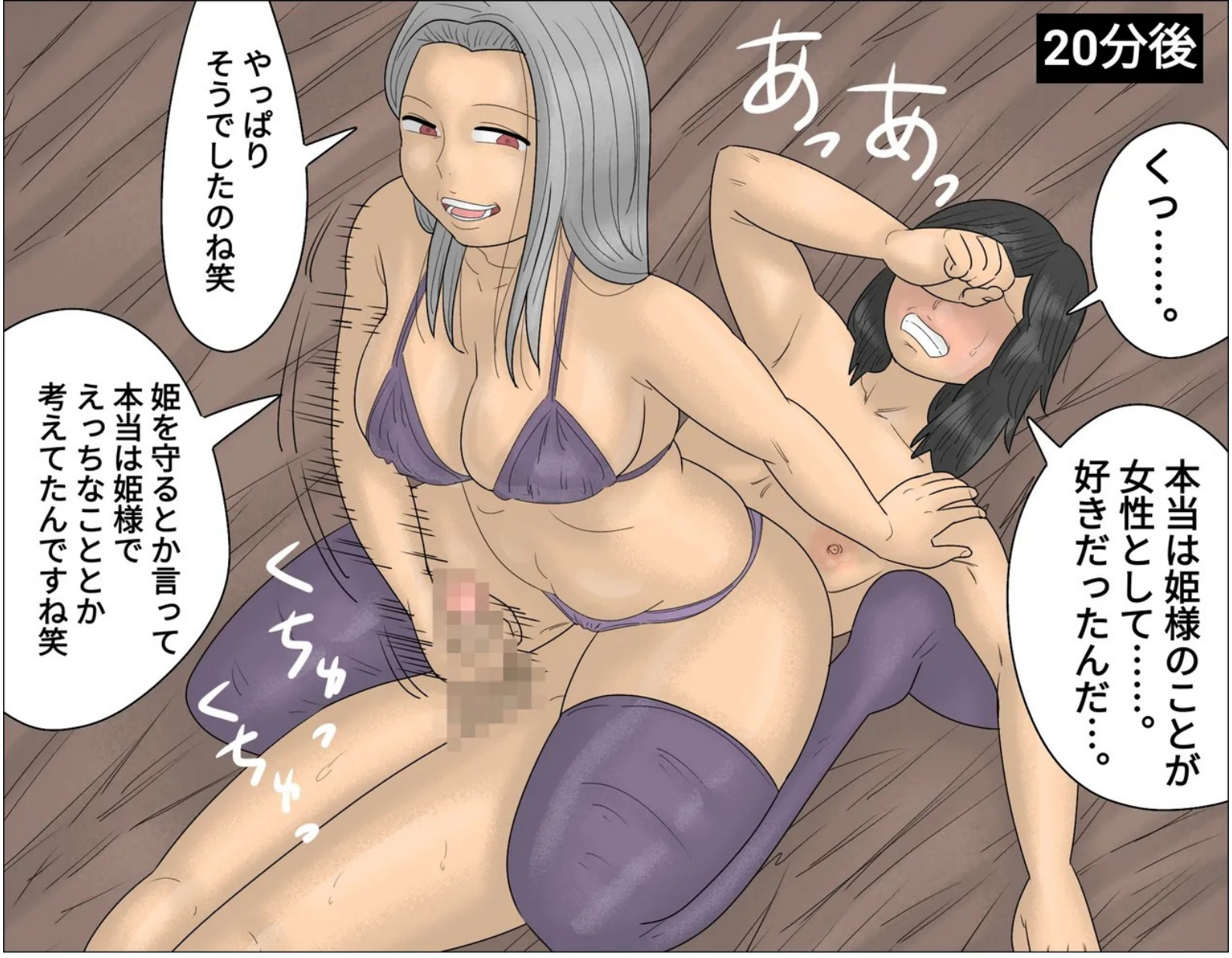

え～？笑
絶対嘘よ～笑
ビクッ
くちゅ
くちゅ
ほらだって
こんなにおちんちん
ビンビンに
なってるんですもの笑
あっ

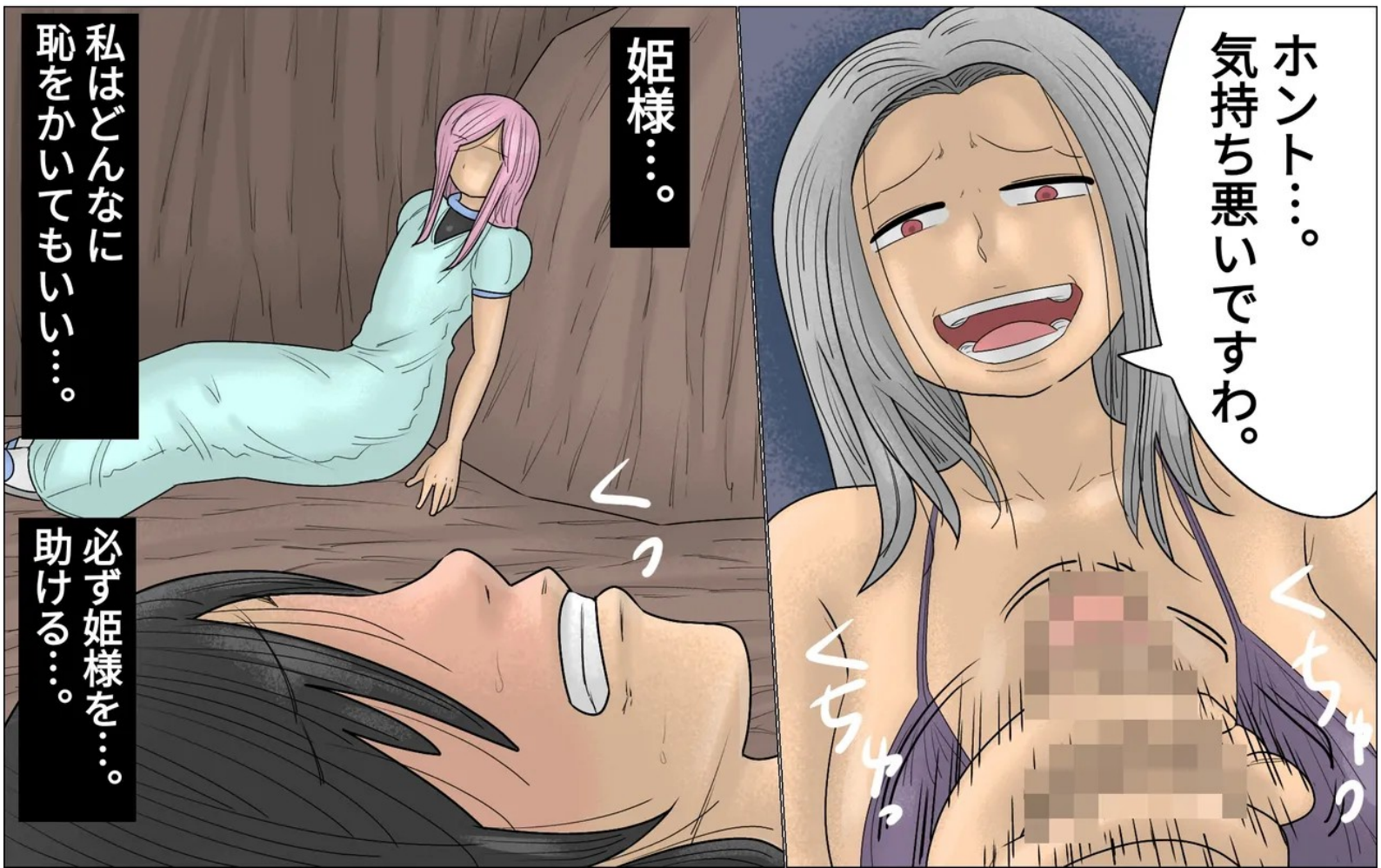
あなたは、姫を守る立場で
ありながら、姫に恋愛感情を
抱いてしまった…。
だから…今…。
お姫様の前で別の女に
襲われて興奮して…。
こんなにちんこ…。
勃起させてるんでしょ？笑
ビクッ
ビクッ


違う…。
私は…。ただ…。
はあ
あぁ
認めないと
おちんちんずっと
なめちゃいますから笑
ぺちゃ

5分後
あっ…私に拷問など
通用しない…。
そんなこと
聞いてないのよ。
姫様のことを女として
好きかどうか聞いてるの。
じゃじゃっ
ずず


10分後
違うっんだ…。
私は…。ただ…
姫様を守る立場で…。
嘘でしょ？笑
早く吐いて
楽になりなさい笑
じゃじゃっ
ずずず～っ


20分後
あっあっ
くっ……。
本当は姫様のことが女性として……。好きだったんだ…。
やっぱりそうでしたのね笑
姫を守るとか言って本当は姫様でえっちなこととか考えてたんですね笑
くちゅっくちゅっ


ホント…。気持ち悪いですわ。
くちゅっくちゅっ
姫様…。
私はどんなに恥をかいてもいい…。
くっ
必ず姫様を…。助ける…。

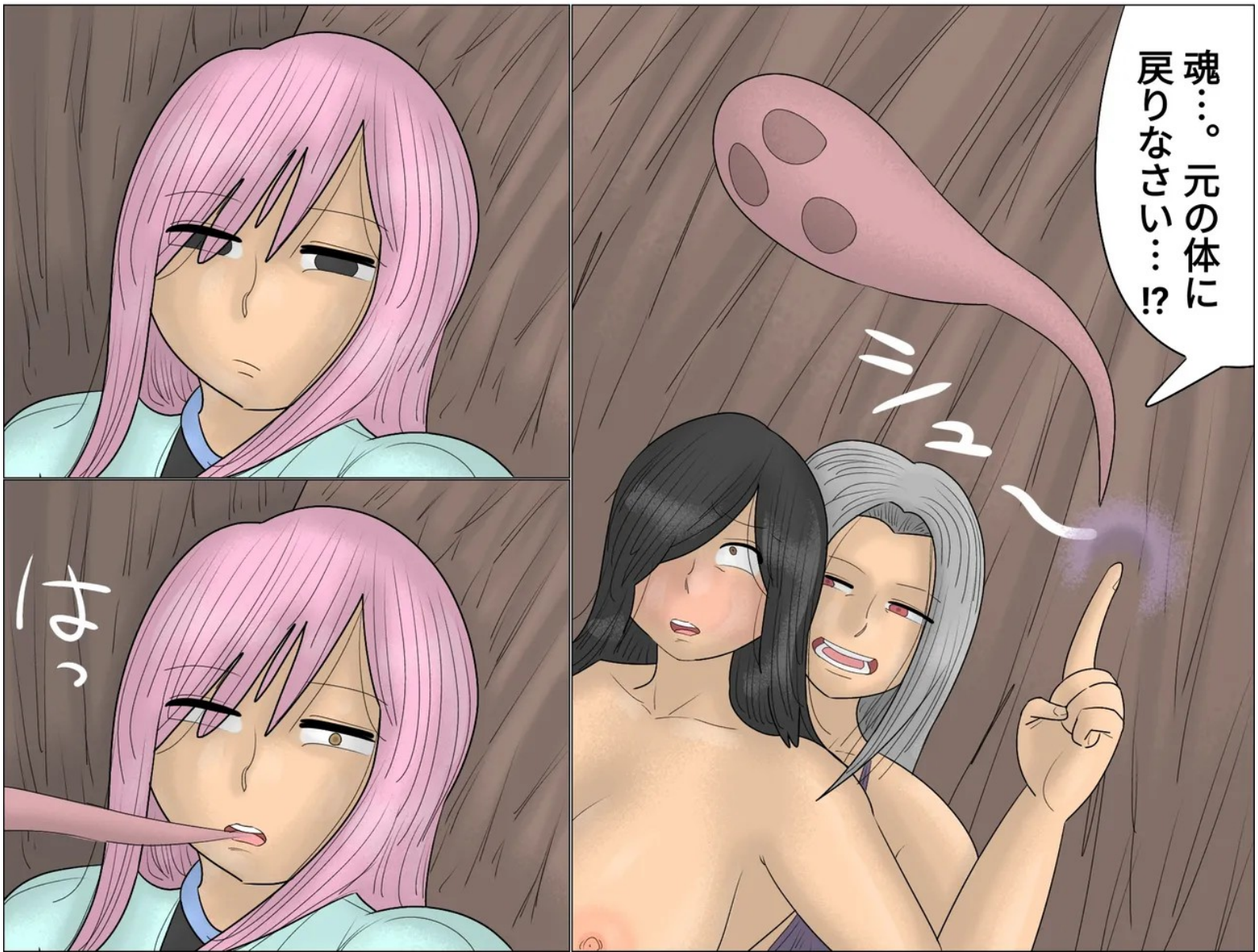
あっ…。さっきから体がおかしい…。
くちゅくちゅっ
魔女…。お前…。私に何をした…？
さっきお尻の穴から入れたのよ…。「惚れ薬」をね…。
これを体内に入れると女性ホルモンが活発になって体が敏感になるんですのよ笑
そして…。惚れ薬を与えた人を好きになっちゃいますの…。
ぶるるっ
それまで愛していた恋人のことも忘れてね…笑

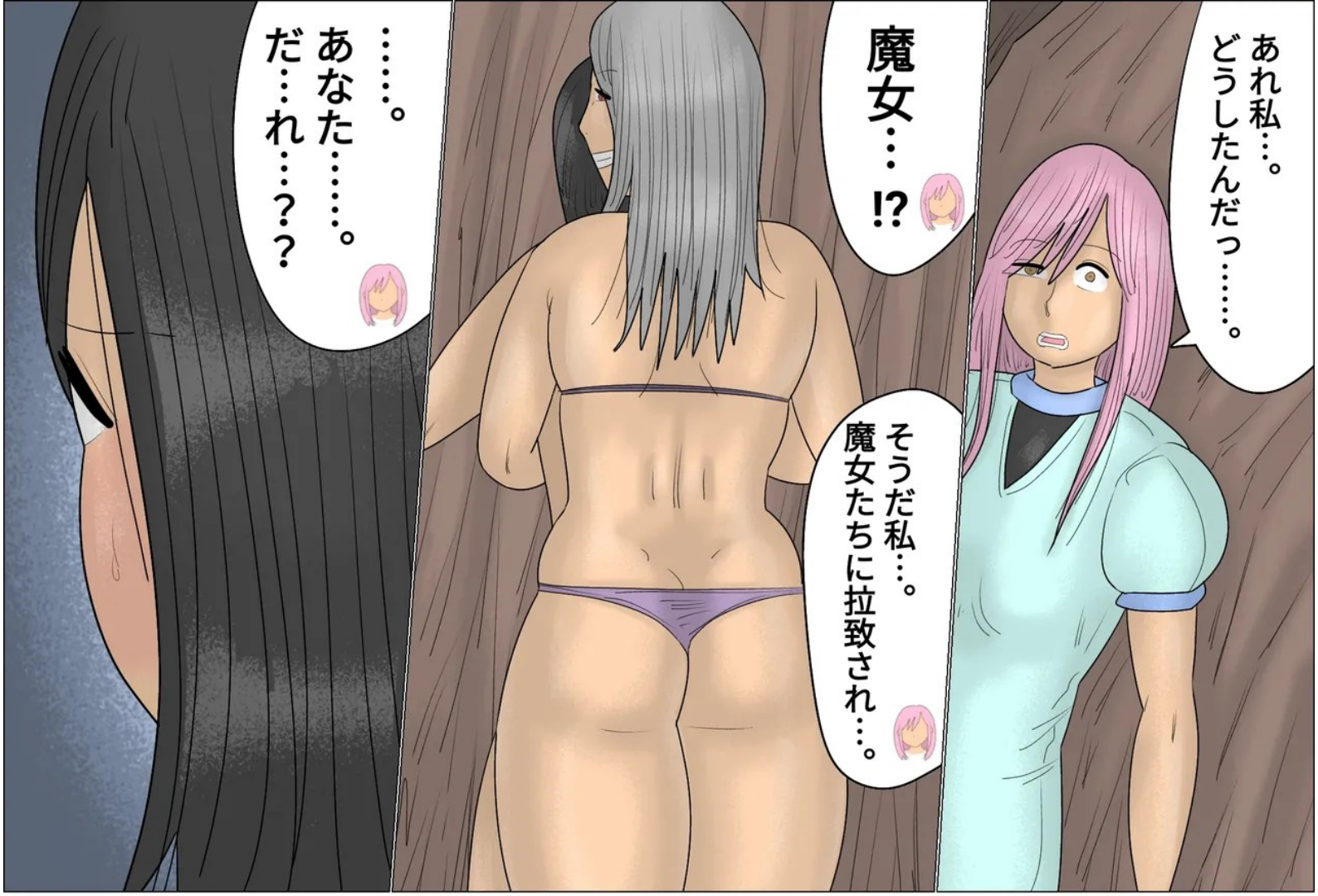
好きになる…？
そういえば…
さっきから…。
ふぃ〜っ
魔女…。
お尻…。
いい匂い…。
いや違う…。
騙されるなっ…。
これは…惚れ薬のせいで…。

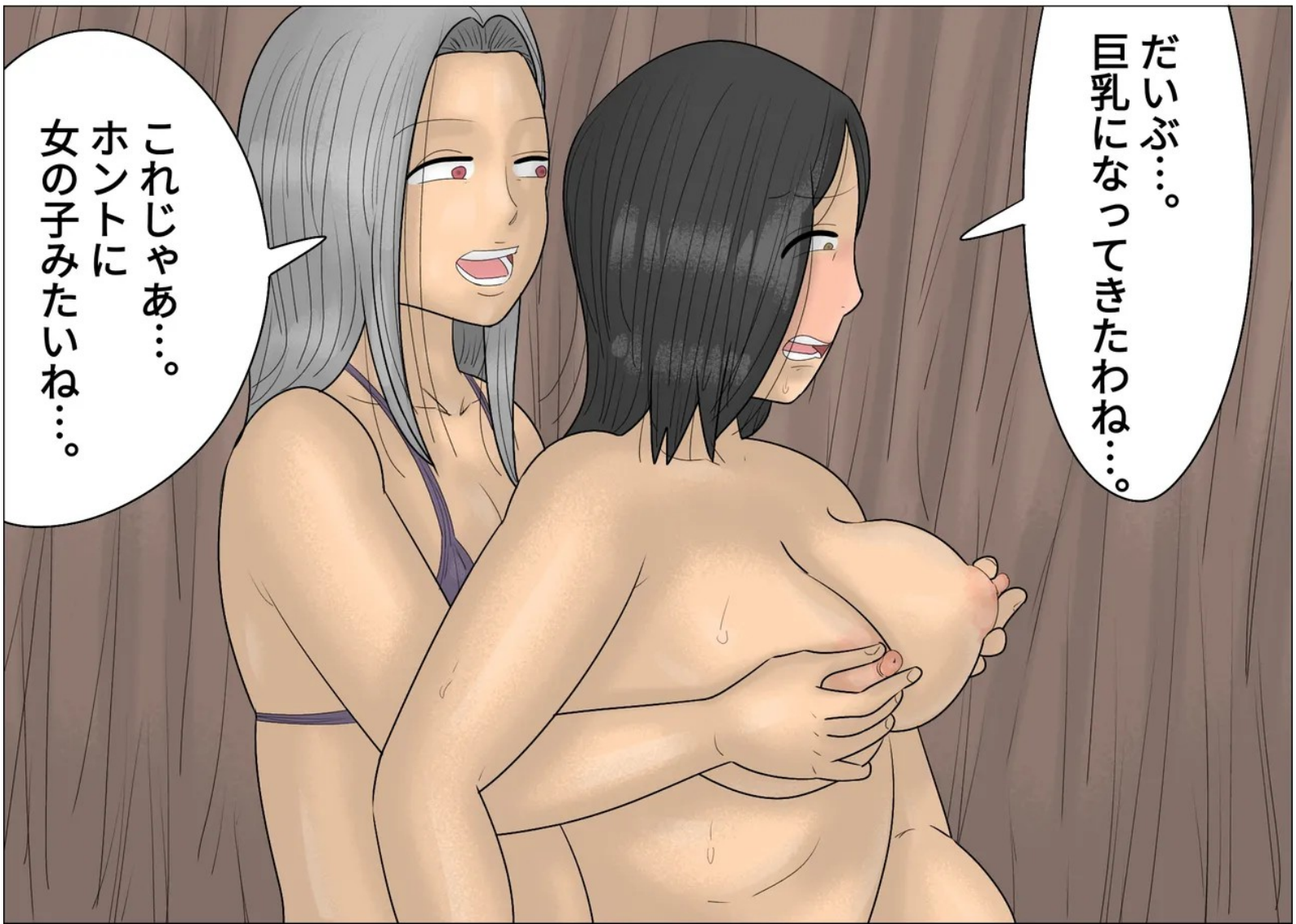
うっ…。
体が熱い…。
なん…。
……!?
ぼっ
ぃぃんっ

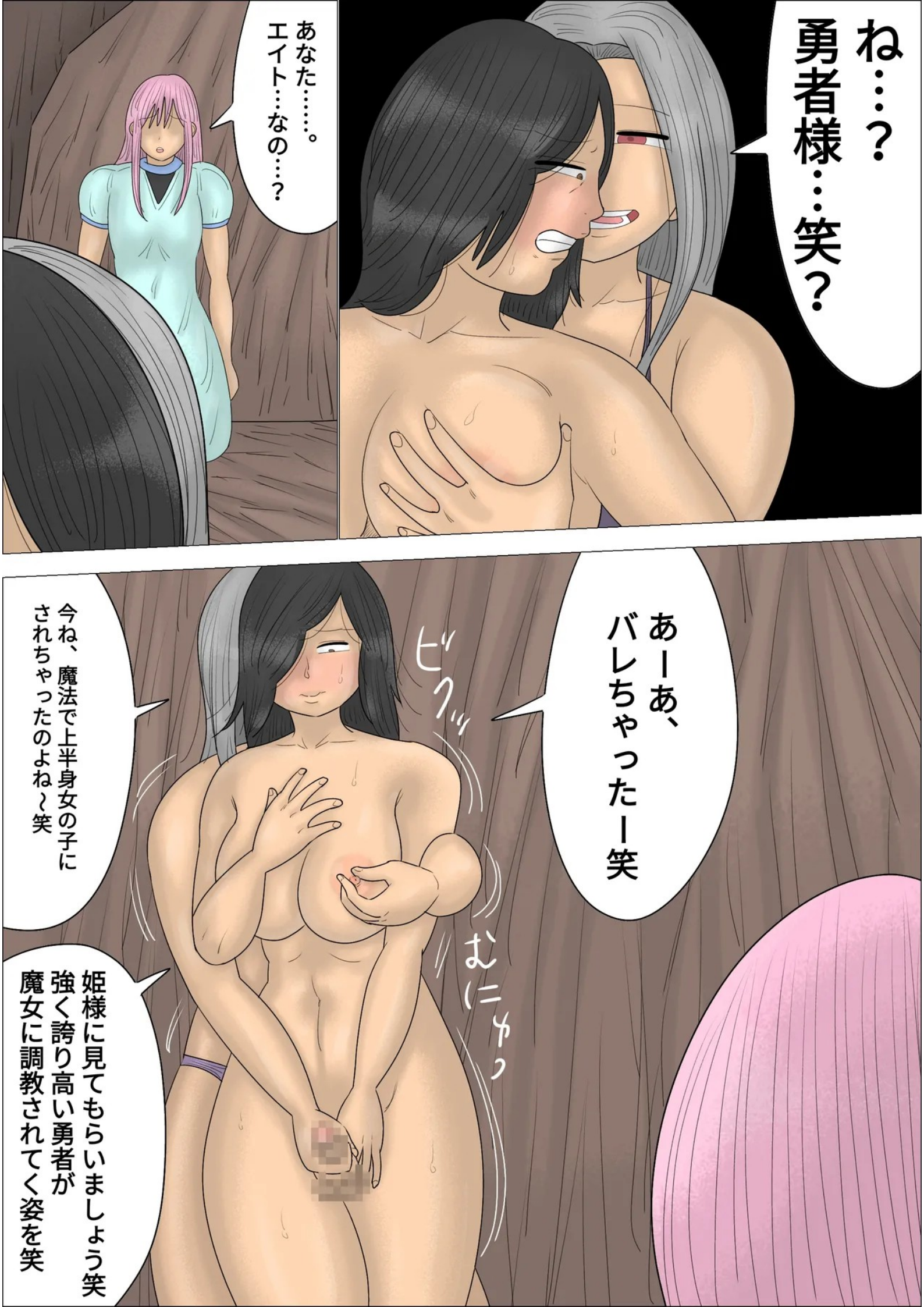
あ、そうそう…。
ちなみに惚れ薬の影響で
体が女性らしくなるのよ笑
恋する乙女って
言うでしょ笑
あっ…くっ…。
今すぐ治せっ…。
ん～治すか治さないかは
あなたの態度次第ですわ笑
言っておくけど
これも魔法を
かけた本人にしか
治せない。
悔しいでしょう笑
こんな恥ずかしい体に
されて…笑
つまり、私にしか
治せないのですわよ。
それじゃあ…。
そろそろ…。

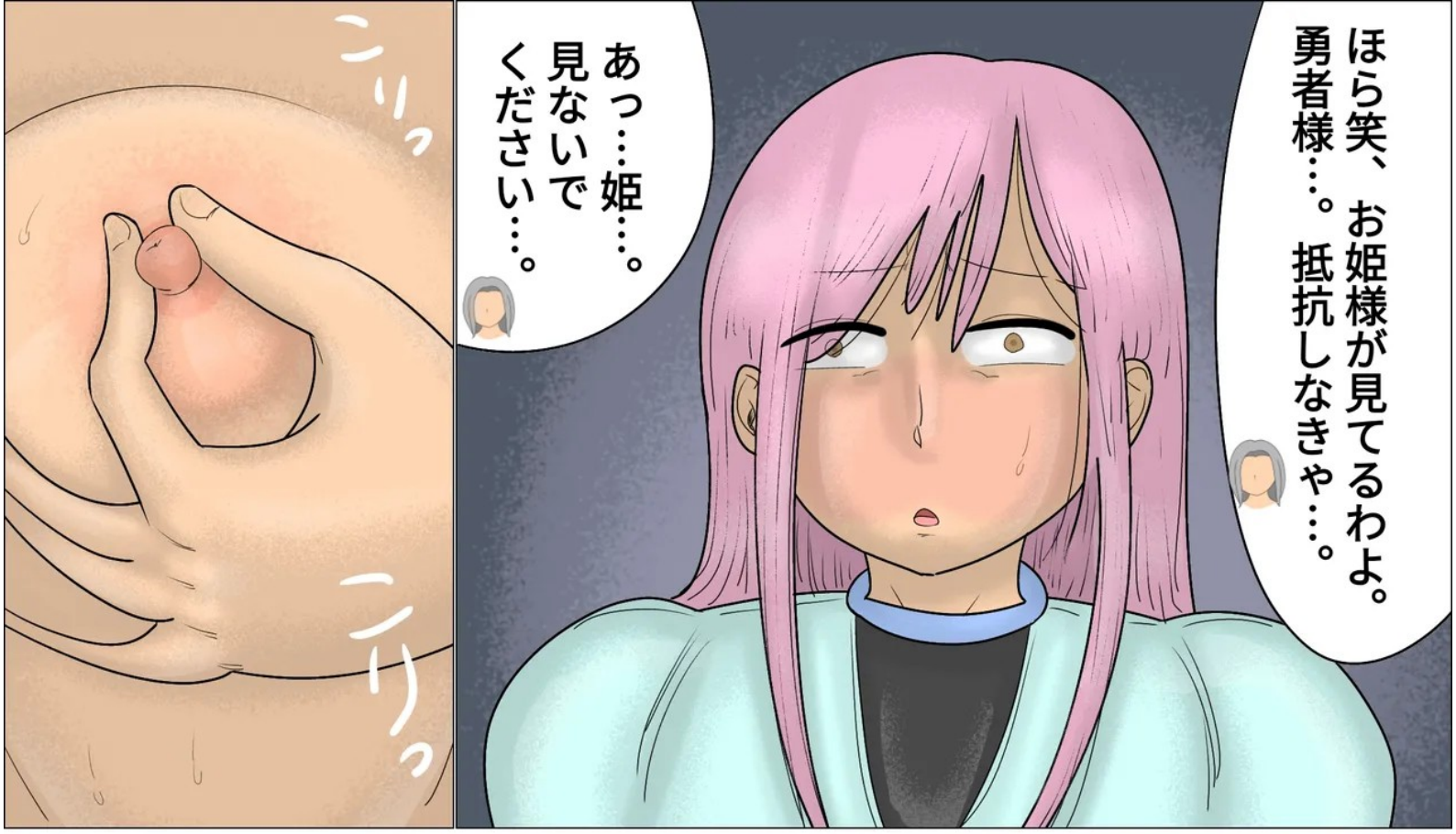
あなたの努力に免じて
お姫様の魂を体に
戻してあげようかしら笑
待て！まだいい…。
戻すなっ…!?
あら、遠慮
しなくていいのよ～。
お姫様に見て
もらいましょうよ。
あなたのその…
恥ずかしい体…笑
ひゃんっ

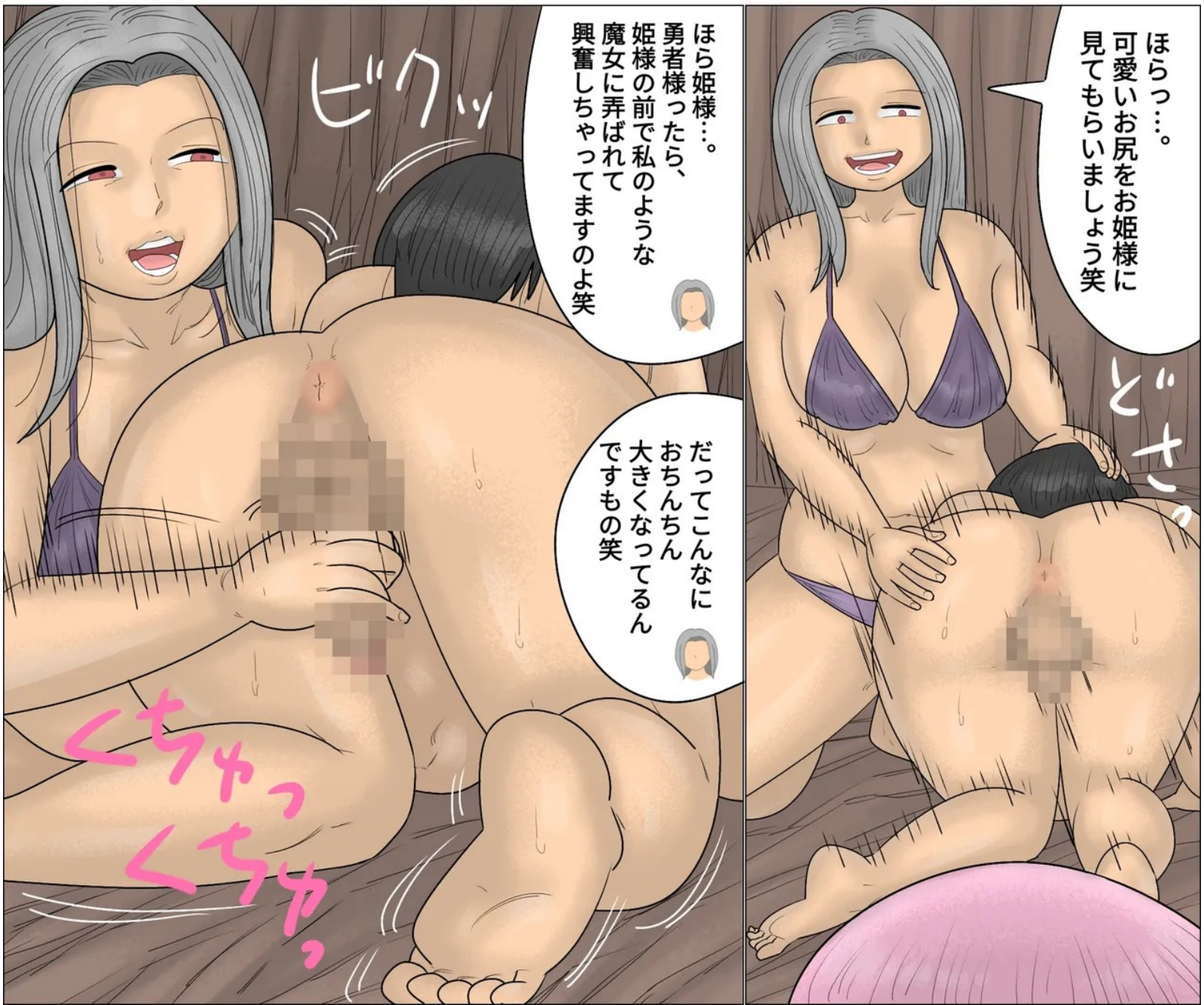

魂…。元の体に
戻りなさい…!?
シュ～
はっ

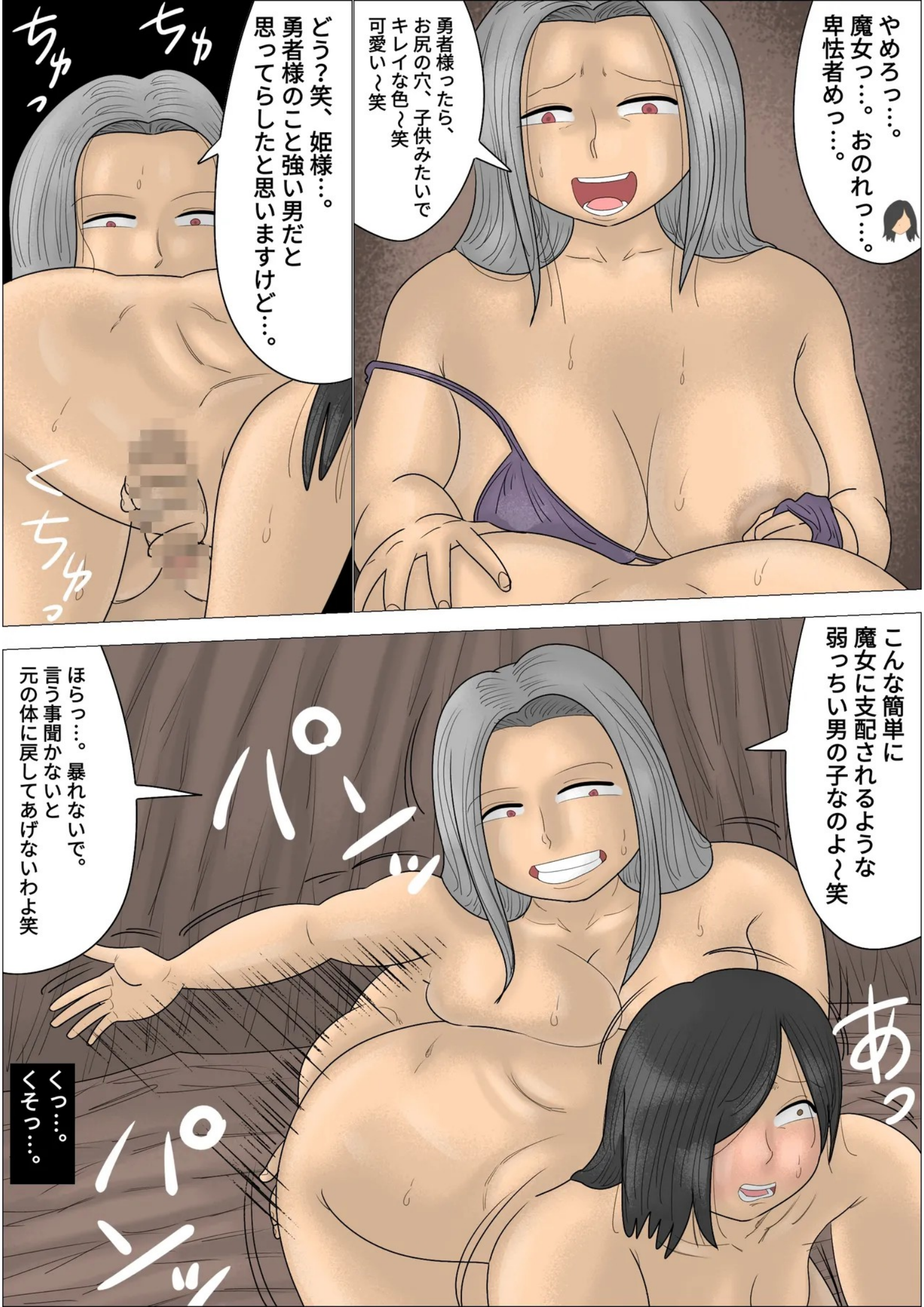

あれ私…。
どうしたんだっ……。
魔女…!?
そうだ私…。
魔女たちに拉致され…。
……。
あなた……。
だ…れ…??


だいぶ…。
巨乳になってきたわね…。
これじゃあ…。
ホントに
女の子みたいね…。


ね…？
勇者様…笑？
あなた……。
エイト…なの…？
あーあ、
バレちゃったー笑
ビクッ
むにゅっ
今ね、魔法で上半身女の子にされちゃったのよね～笑
姫様に見てもらいましょう笑
強く誇り高い勇者が
魔女に調教されてく姿を笑

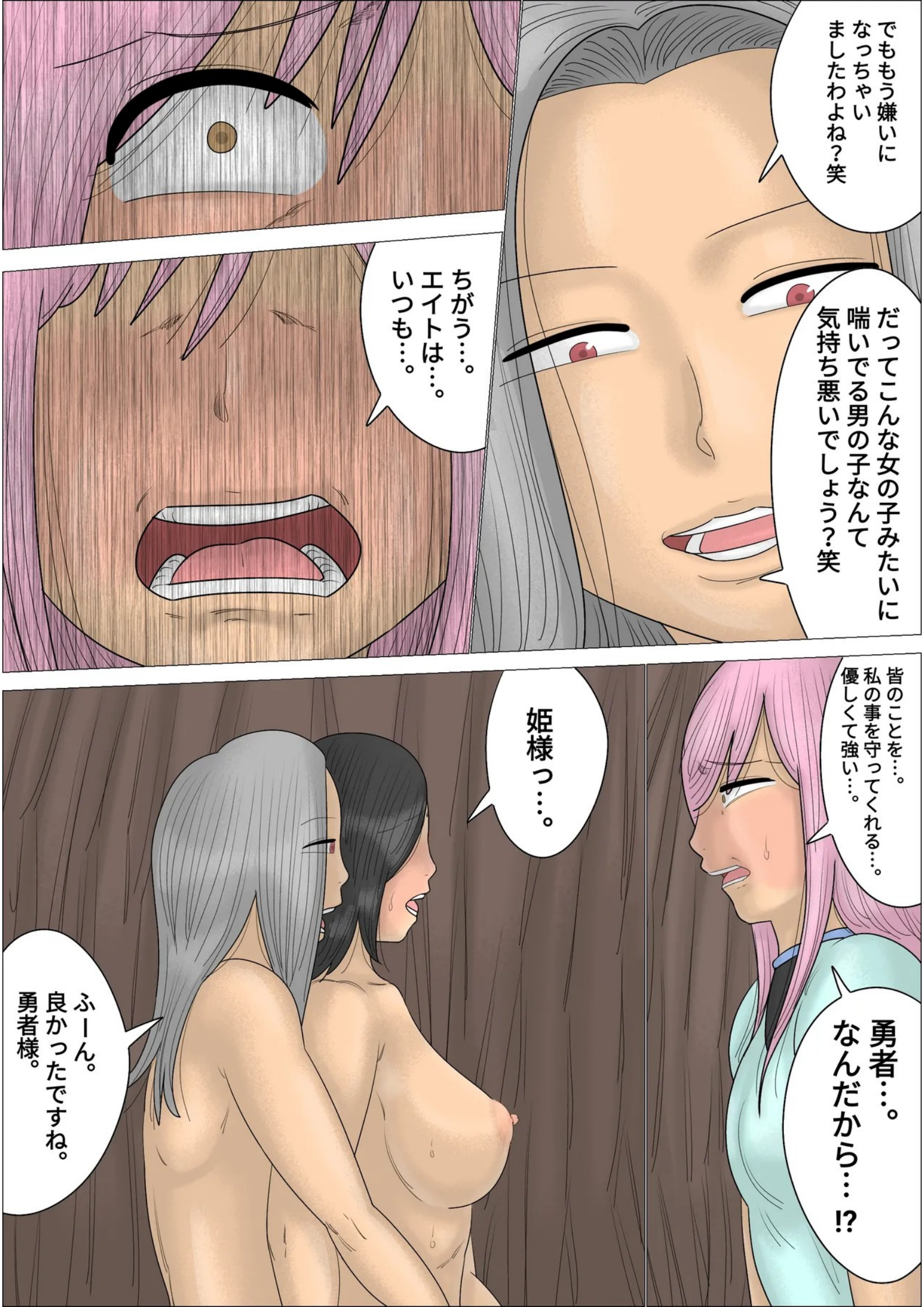

ほら笑、お姫様が見てるわよ。勇者様…。抵抗しなきゃ…。
あっ…姫…。見ないでください…。
こりっ
こりっ

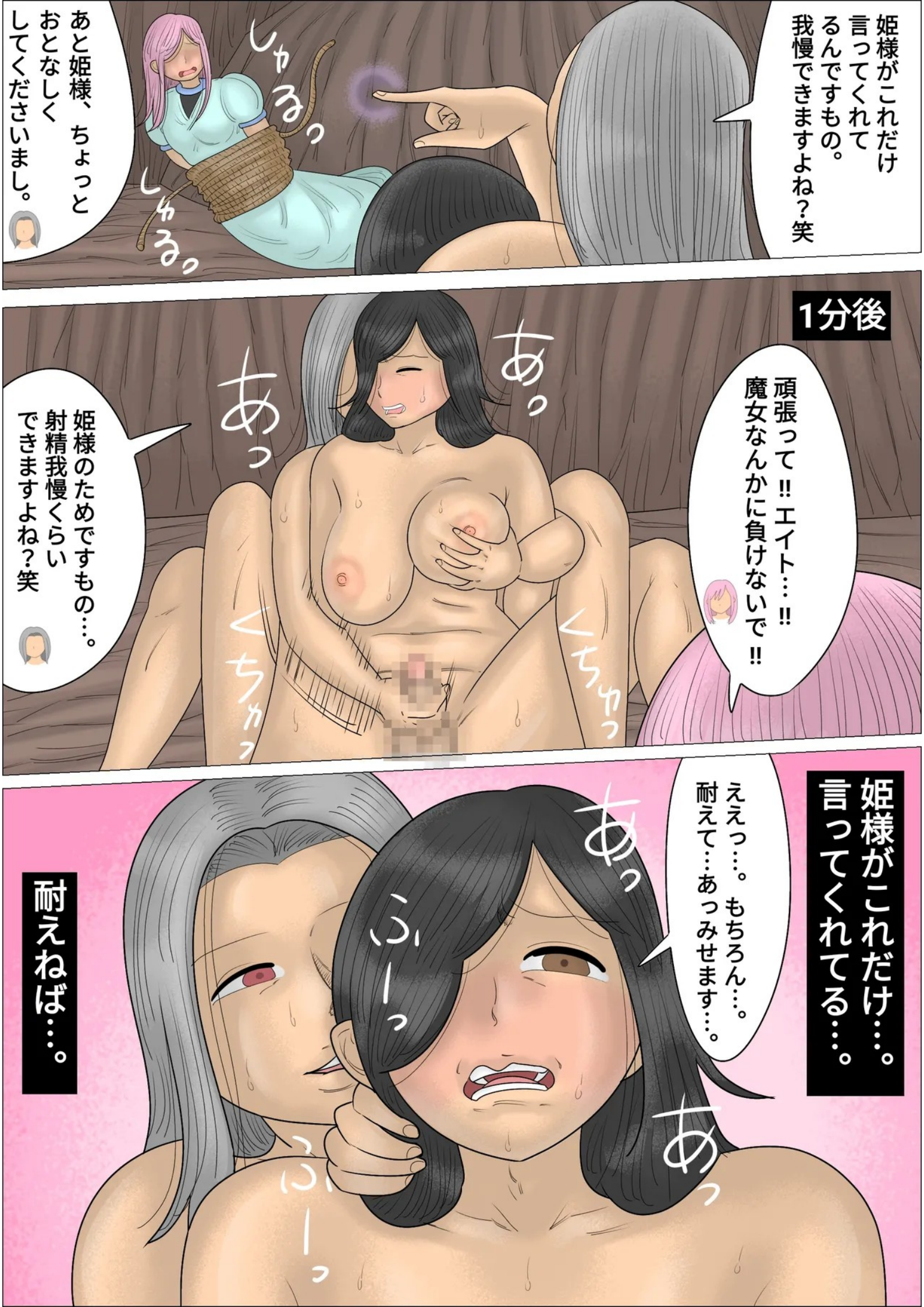

ほらっ…。可愛いお尻をお姫様に見てもらいましょう笑
どさっ
ほら姫様…。勇者様ったら、姫様の前で私のような魔女に弄ばれて興奮しちゃってますのよ笑
だってこんなにおちんちん大きくなってるんですもの笑
ビクッ
くちゃっくちゃっ


やめろっ…。
魔女っ…。おのれっ…。
卑怯者めっ…。
勇者様ったら、
お尻の穴、子供みたいで
キレイな色～笑
可愛い～笑
ちゅっ
ちゅっ
どう？笑、姫様…。
勇者様のこと強い男だと
思ってらしたと思いますけど…。
こんな簡単に
魔女に支配されるような
弱っちい男の子なのよ～笑
パンッ
ほらっ…。暴れないで。
言う事聞かないと
元の体に戻してあげないわよ笑
あっ
パンッ
くっ…。
くそっ…。

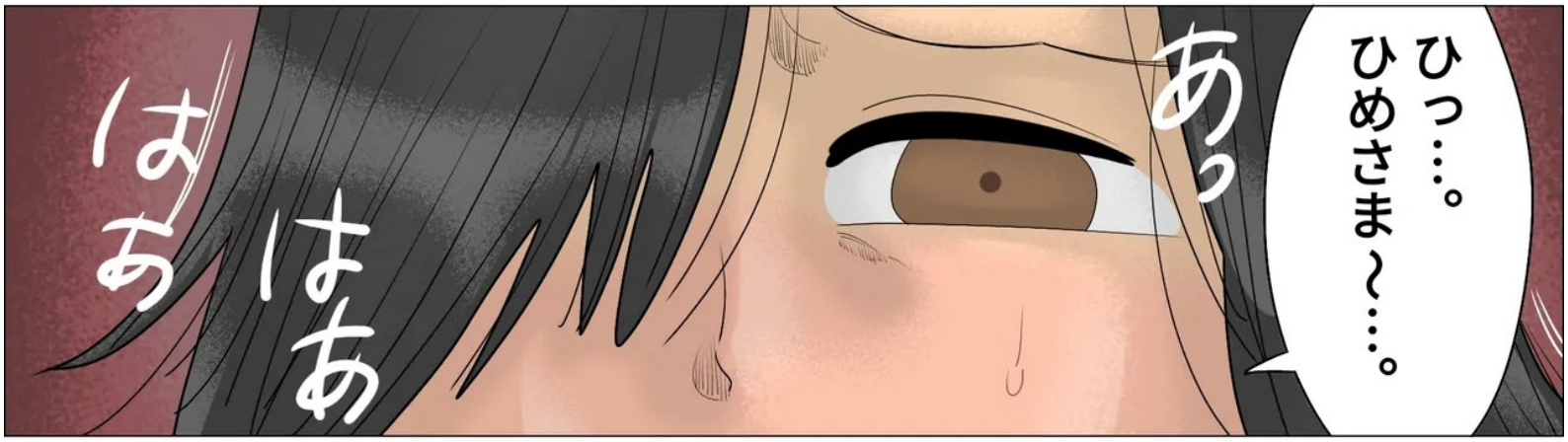
それじゃあ…。
恥ずかしい格好で
イかせてさしあげるわ。
あっ
がしっ
お姫様に
全部丸見えよ…。

姫様…。
見ないで…
ください。
さっきからそれしか
言わないわね笑
やっぱ所詮人間なんて
訓練して勇者名乗ろうが
弱っちい生き物ね…笑
あ、そうそう。
勇者様ったら、
ずっとお姫様のこと
好きだったんですって笑
くちゃっ
くちゃっ


でももう嫌いになっちゃいましたわよね？笑
だってこんな女の子みたいに喘いでる男の子なんて気持ち悪いでしょう？笑
ちがう…。エイトは…。いつも…。
皆のことを…。私の事を守ってくれる…。優しくて強い…。
勇者…。なんだから…!?
姫様っ…。
ふーん。良かったですね。勇者様。

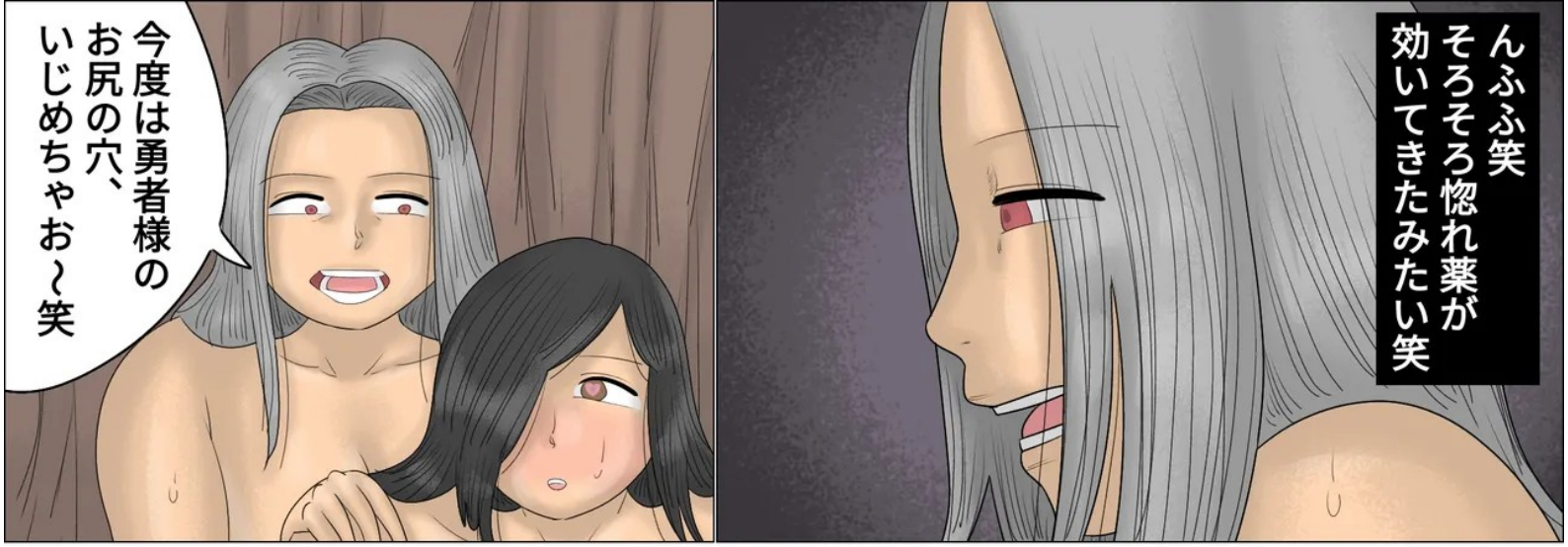

姫様がこれだけ言ってくれてるんですもの。我慢できますよね？笑
しゃるっ
しゃるっ
あと姫様、ちょっとおとなしくしてくださいまし。
1分後
頑張って!! エイト…!! 魔女なんかに負けないで!!
あっ
あっ
くちゅっ
くちゅっ
姫様のためですもの…。射精我慢くらいできますよね？笑
姫様がこれだけ…。言ってくれてる…。
ええっ…。もちろん…。耐えて…あっみせます…。
あっ
ふーっ
あっ
ふーっ
耐えねば…。

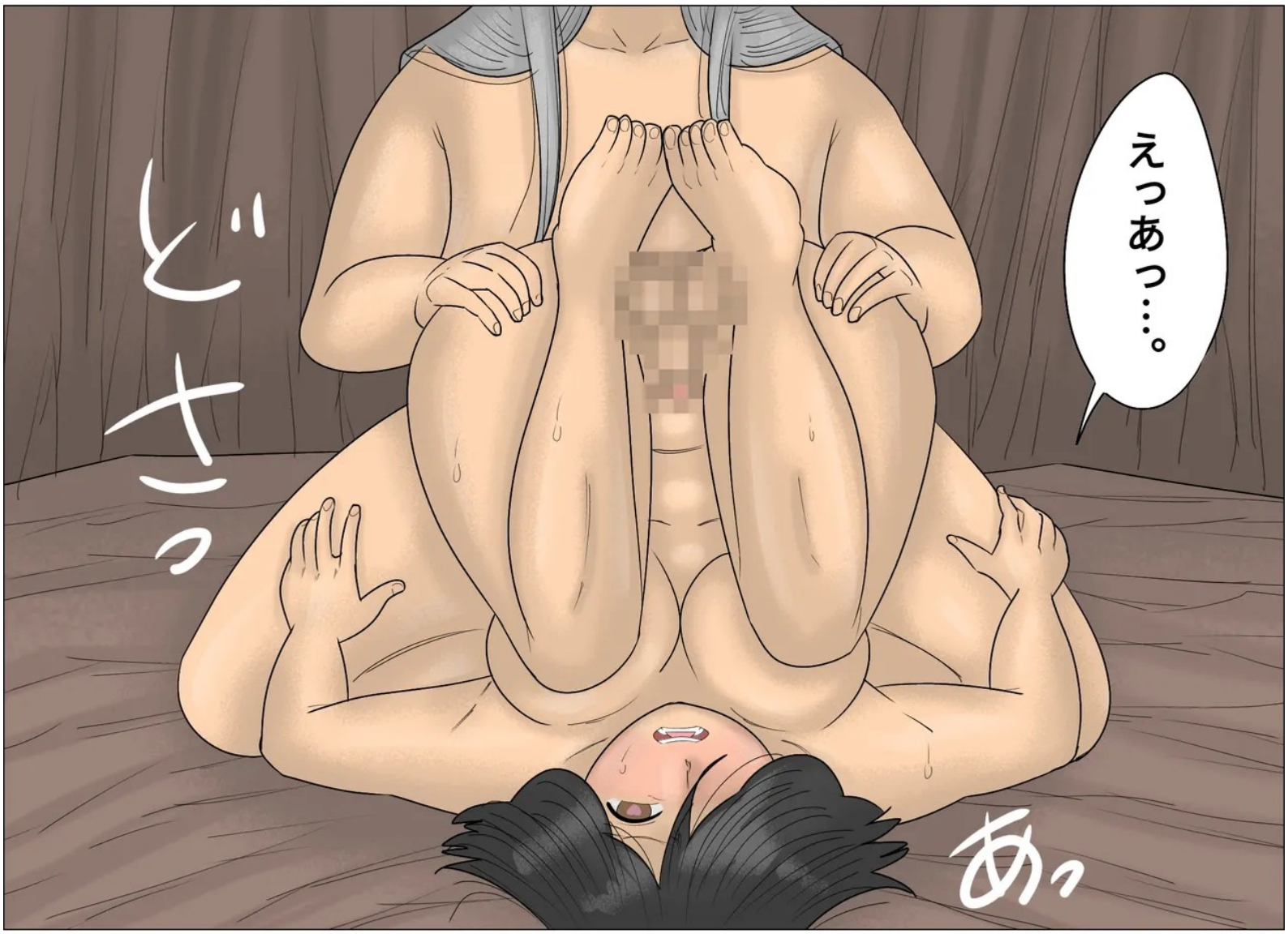
2分後
エイト…。
私のことはいいから…。
逃げて…!?
ほらっ…。
勇者様、頑張って
逃げないとっ笑
あっ
あっ
くちゅっ
くちゅっ

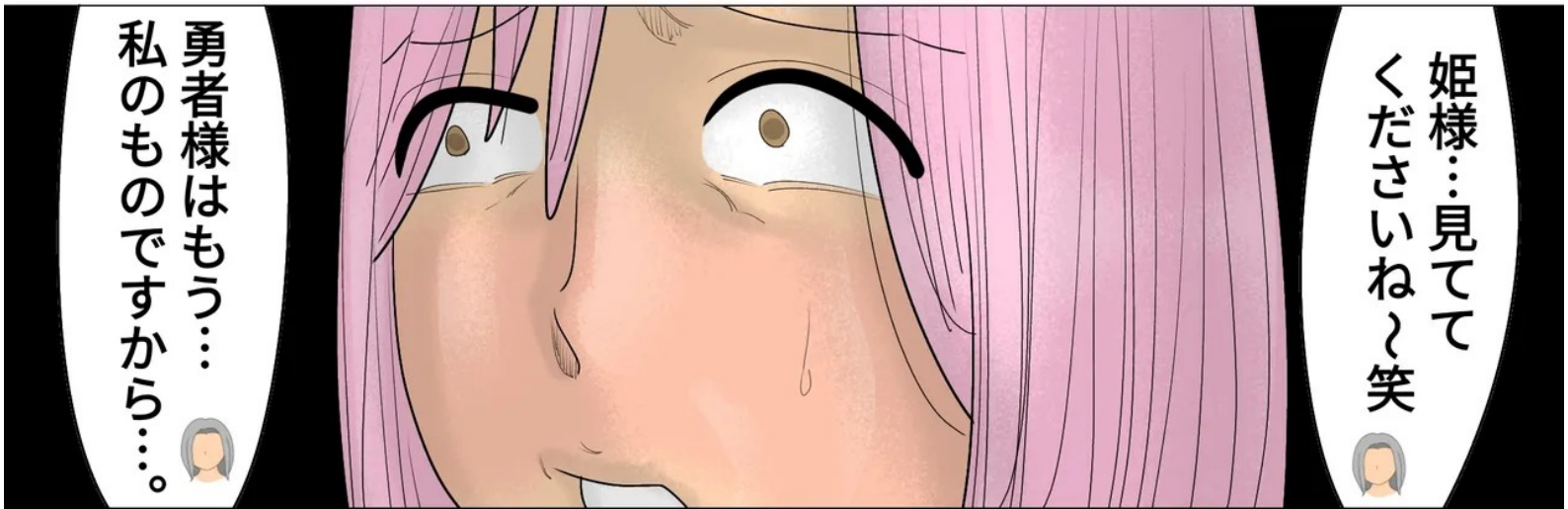

ひっ…。
ひめさま～…。
あっ
はあ

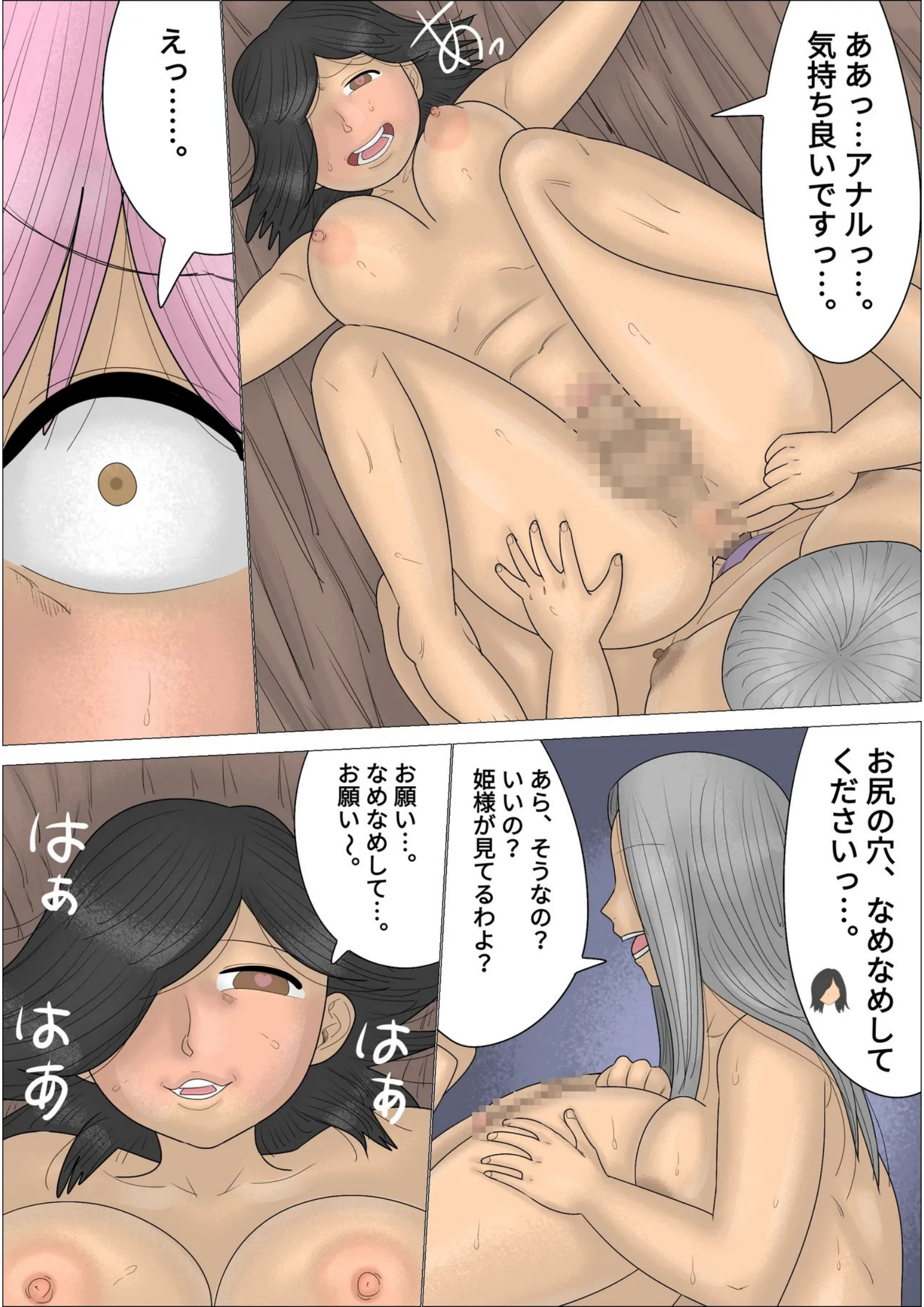
出しちゃダメだよ?勇者様。
我慢、我慢、我慢、我慢…。
あっ…。だめっ…。
我慢できない…。
あっ
あっ
くちゅっ
くちゅっ
くちゅっ

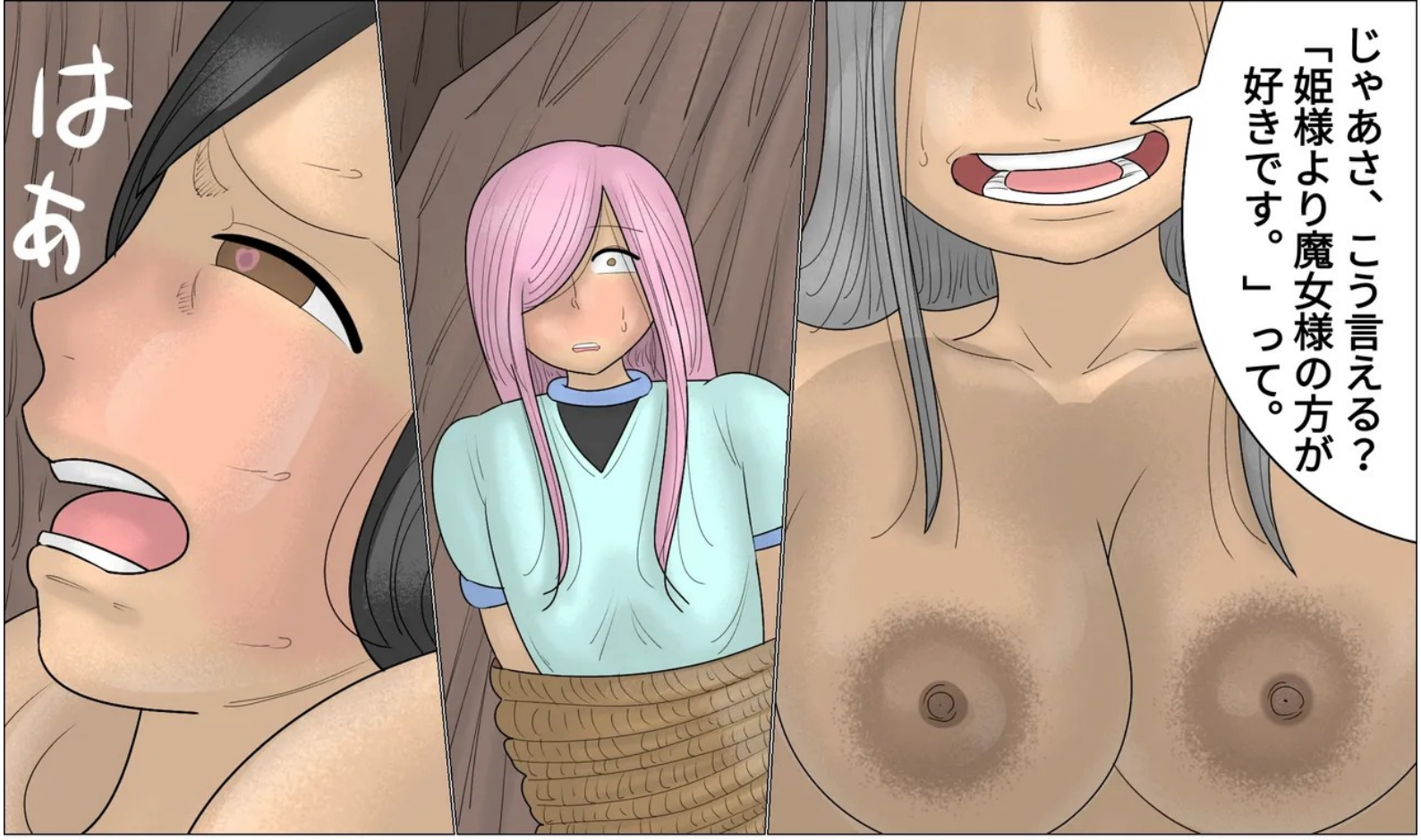
3分後
あっんっ……。
ビクッ
え、もう出ちゃったんですか？笑
早すぎますよ、勇者様ったら笑
あっ
はっ
どぴゅっ
ビクッ
エイト…。
もう情けなさすぎですね笑
よくそれで姫を守るとか偉そうに言ってましたね。
はあ
はあ


んふふ笑
そろそろ惚れ薬が
効いてきたみたい笑
今度は勇者様の
お尻の穴、
いじめちゃお～笑

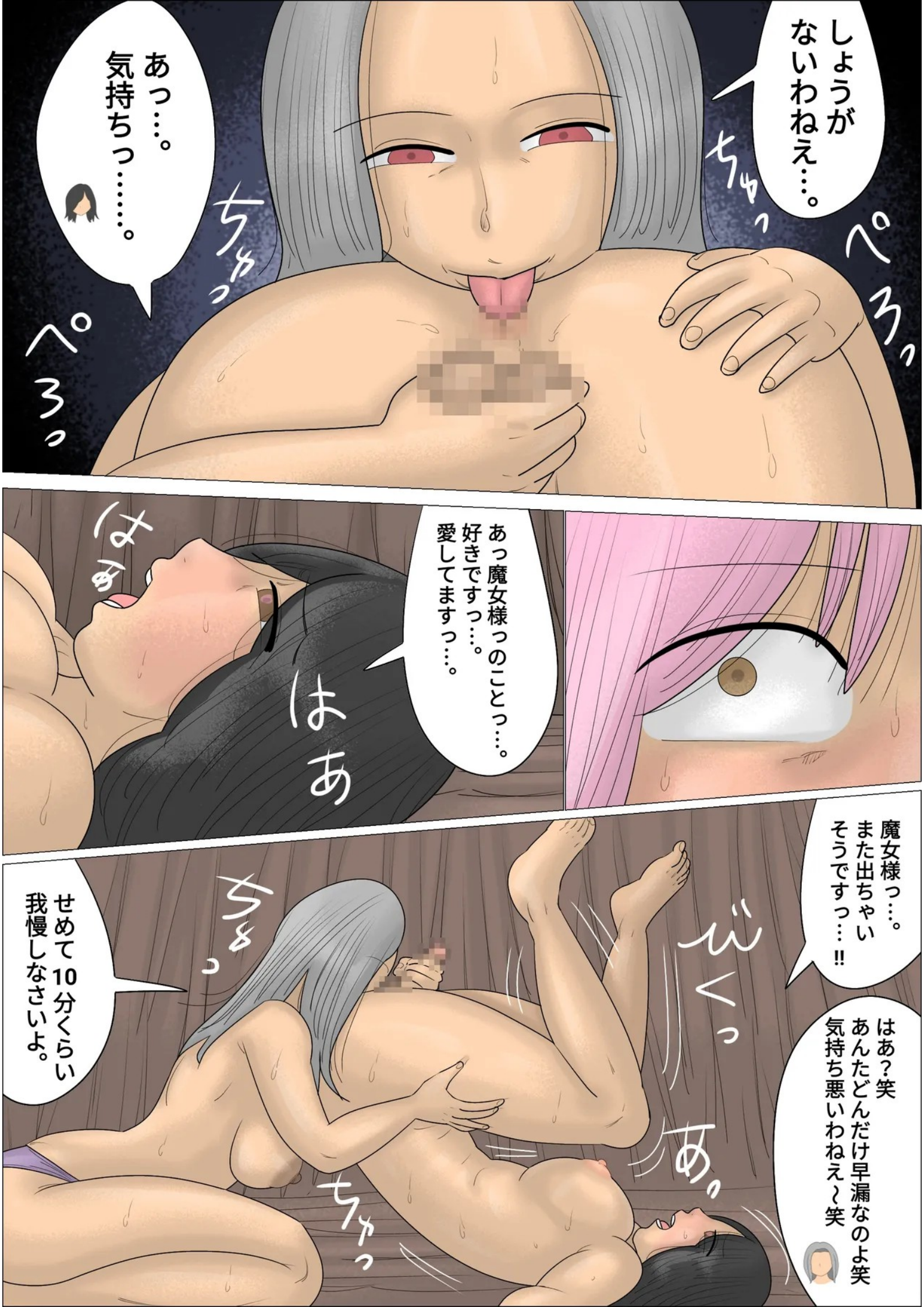

えっあっ…。
どさっ
あっ

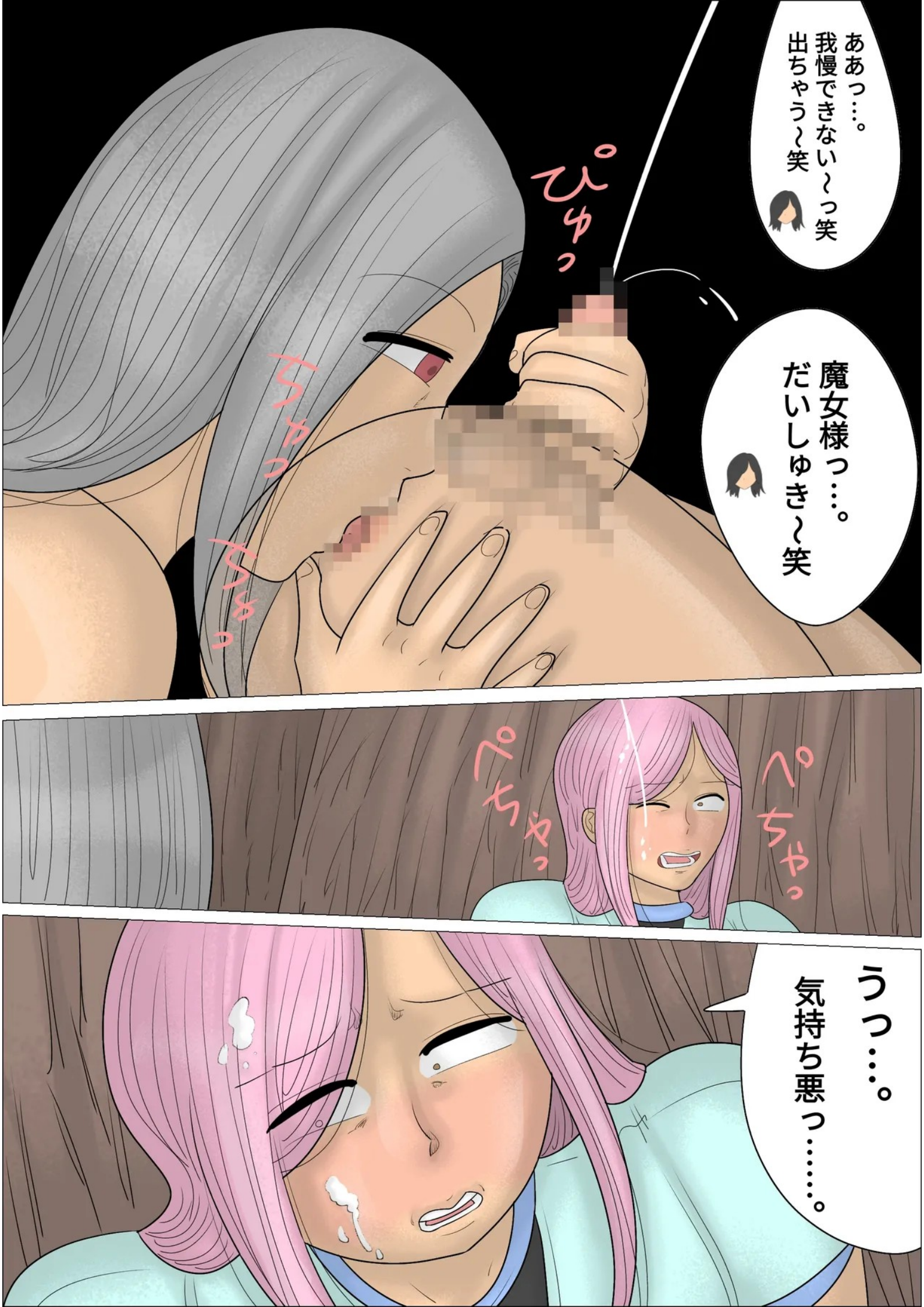

姫様…見ててくださいね～笑
勇者様はもう…
私のものですから…。


ああっ…アナルっ…。
気持ち良いですっ…。
えっ……。
お尻の穴、なめなめしてくださいっ…。
あら、そうなの？
いいの？
姫様が見てるわよ？
お願い…。
なめなめして…。
お願い～。
はぁ
はぁ
はぁ


はあ
じゃあさ、こう言える？
「姫様より魔女様の方が
好きです。」って。

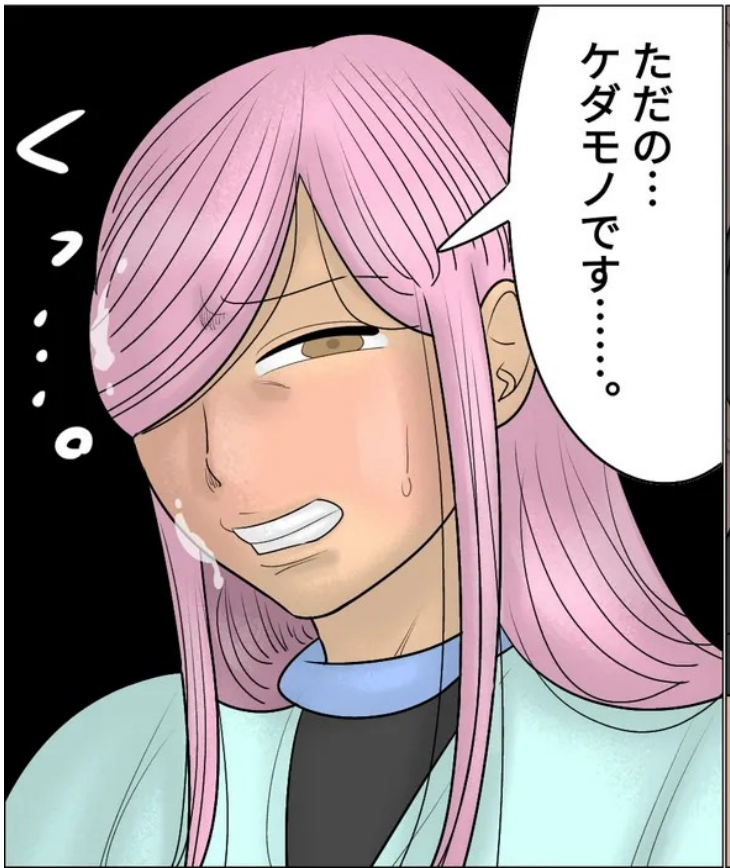
魔女様の方が
好きですっ……!!
お願いっ…!!
早くお尻の穴、
なめなめしてっ…!!


しょうがないわねえ…。
ちゅっ
ぺろっ
あっ…。気持ちっ……。
ちゅっ
ぺろっ
はあ
あっ魔女様っのことっ…。好きですっ…。愛してますっ…。
はあ
魔女様っ…。また出ちゃいそうですっ…!!
はあ？笑 あんたどんだけ早漏なのよ笑 気持ち悪いわねえ～笑
ぴくっ
あっ
ちゅっ
せめて10分くらい我慢しなさいよ。

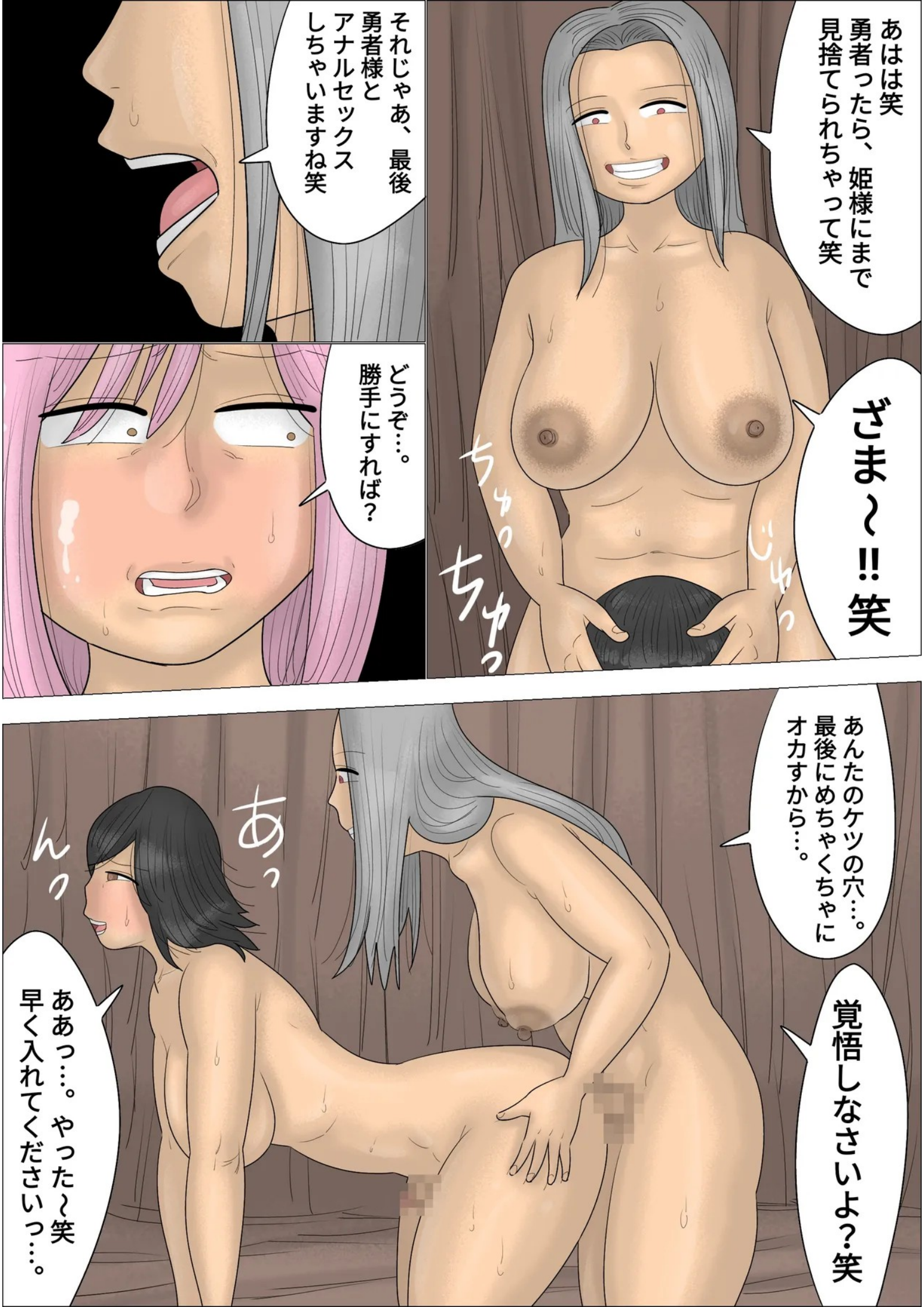

ぴゃっ
ちゃっちゃっ
ああっ…。
我慢できない～っ笑
出ちゃう～笑
魔女様っ…。
だいしゅき～笑
ぺちゃっ
ぺちゃっ
うっ…。
気持ち悪っ……。

むくっ
これ、なめな？笑
びんっ
はあ
はあ
はいっ…。
魔女様っ…。
ちゅく
じゅるっ
じゅっ
じゅじゅ
どうです？笑
姫様、勇者様を
取られた気分。
どうせ、あなたが
魔法でもかけたんでしょ。

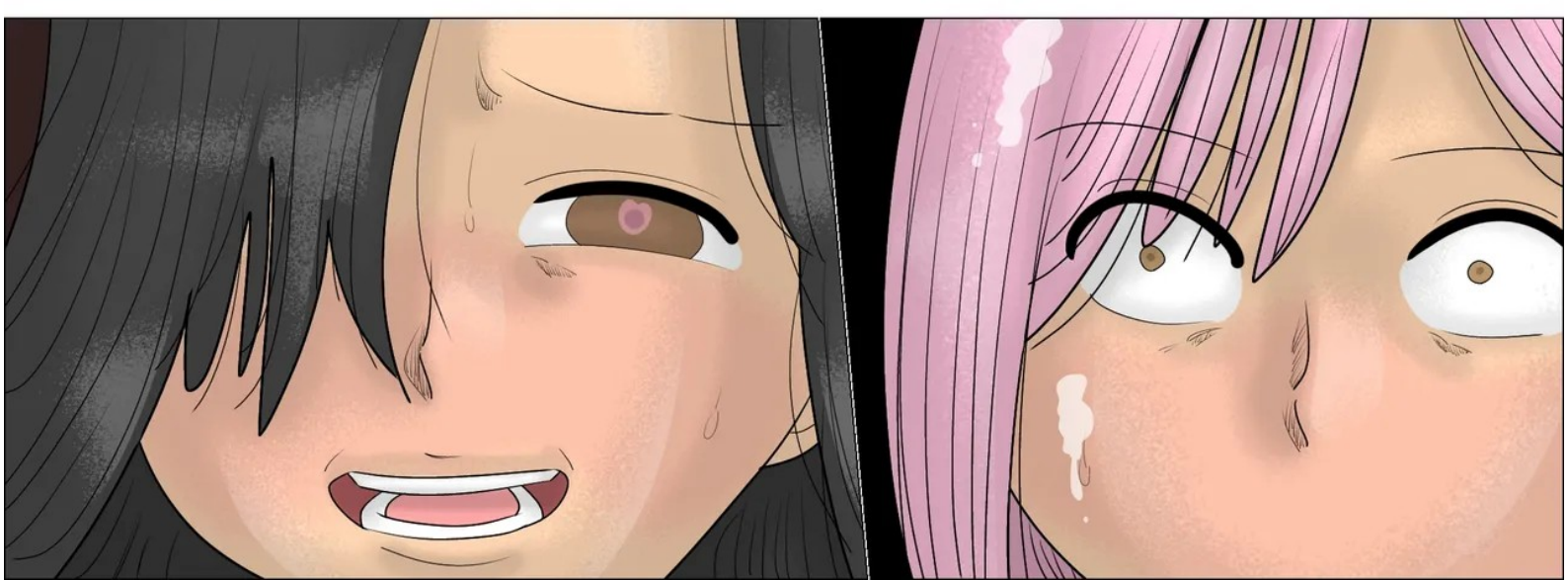
あはは笑
バレちゃいましたか笑
もうこのクソ勇者は、姫様を好きだったこと忘れて完全に私のこと愛してますよ笑
ちゅっ
ちゅっ
じゅっ


ただの…ケダモノです……。
くっ…。

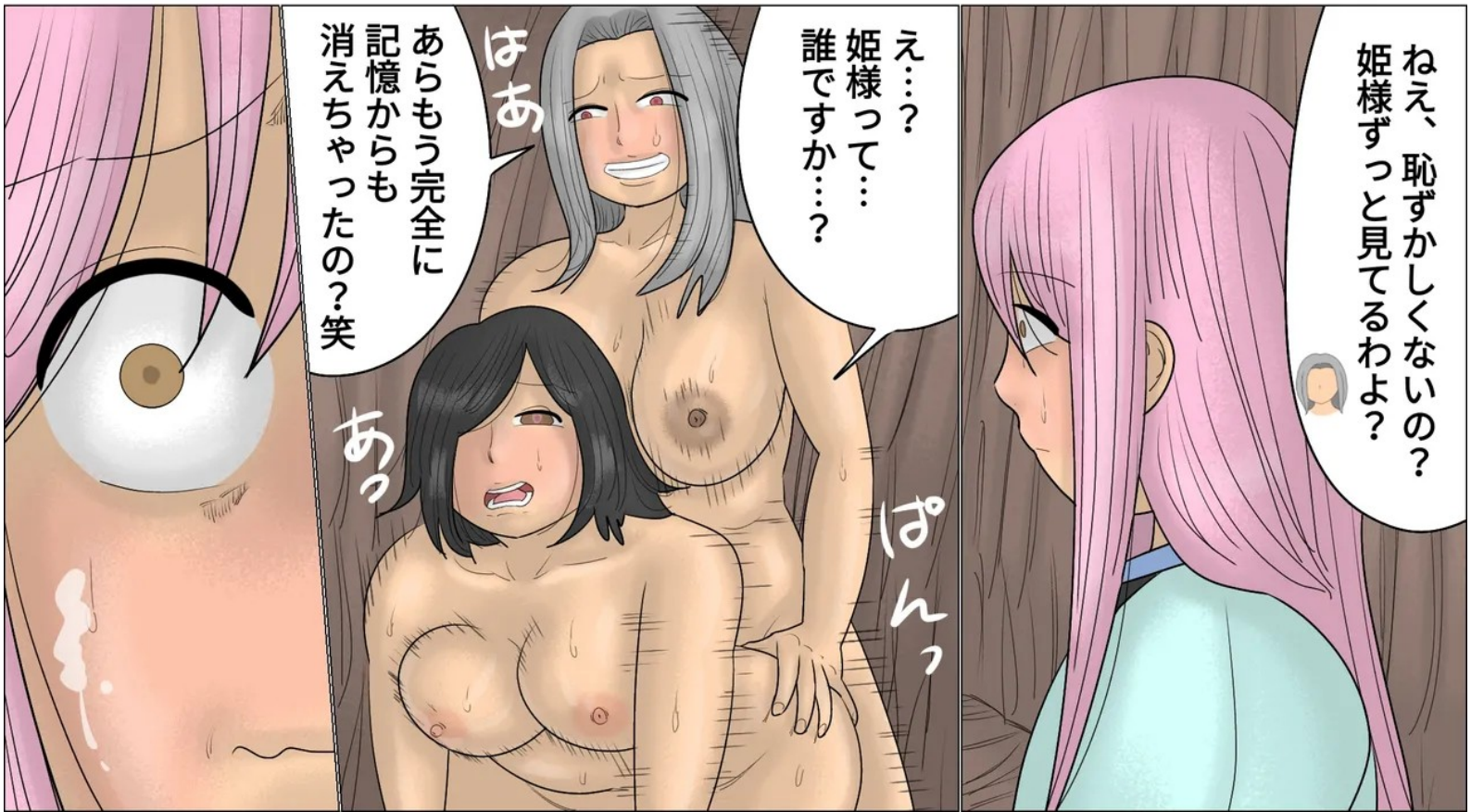
その人は、エイト…じゃ…。ありません……。
ちゅっ
んはっ
ちゅ


あはは笑
勇者ったら、姫様にまで
見捨てられちゃって笑
ざま～!!笑
ちゅっ
ちゅっ
じゅっ
それじゃあ、最後
勇者様と
アナルセックス
しちゃいますね笑
どうぞ…。
勝手にすれば？
あんたのケツの穴…。
最後にめちゃくちゃに
オカすから…。
覚悟しなさいよ？笑
あっ
んっ
ああっ…。やった～笑
早く入れてくださいっ…。

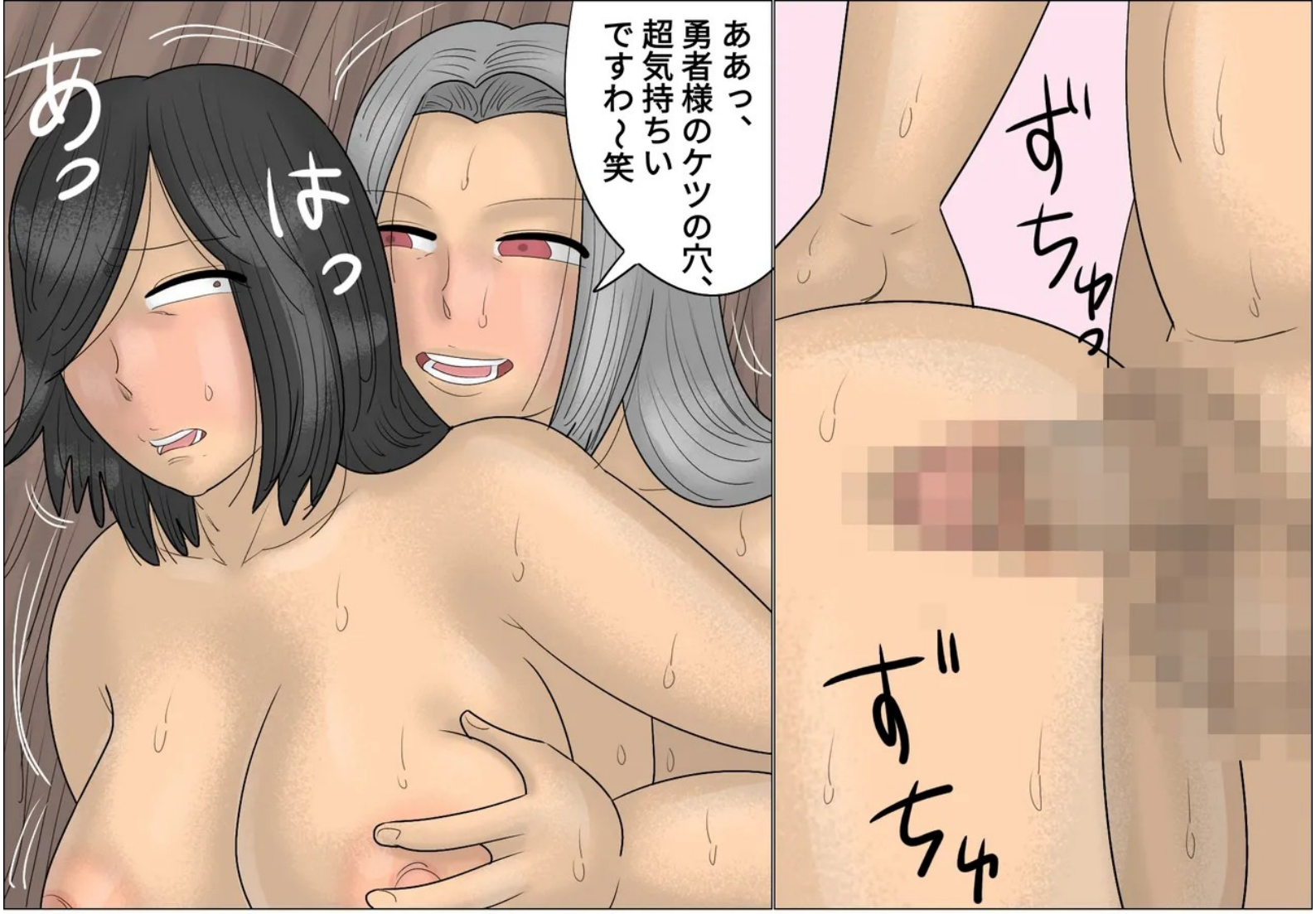
あ～入った…。



あんたのケツの穴、最高ね笑
剣士よりも、性奴隷の方がお似合いよ笑
はあ
はあ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ありがとう…
ごじゃいますっ…笑

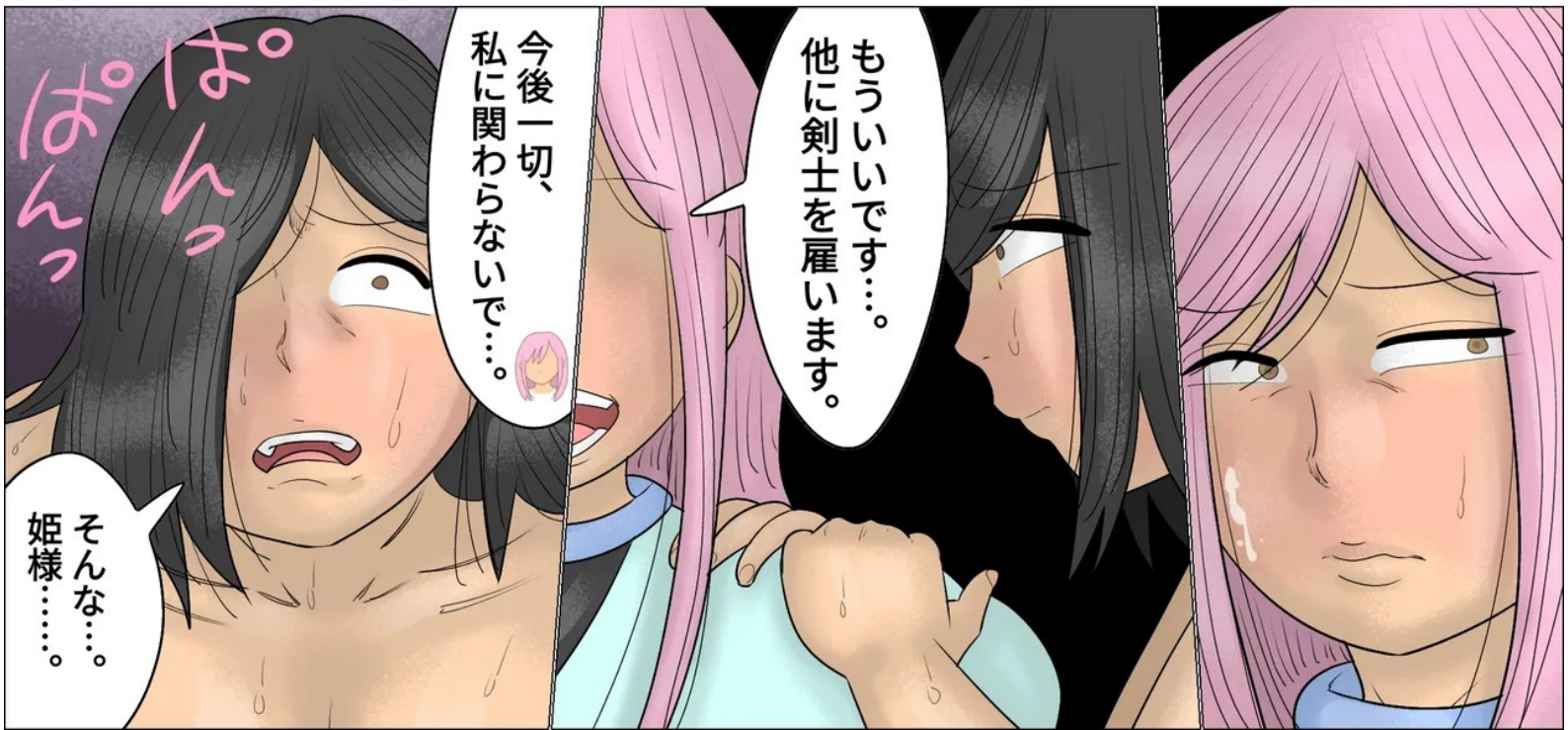

ねえ、恥ずかしくないの？
姫様ずっと見てるわよ？
え…？
姫様って…
誰ですか…？
はあ
あらもう完全に
記憶からも
消えちゃったの？笑
あっ
ぱんっ

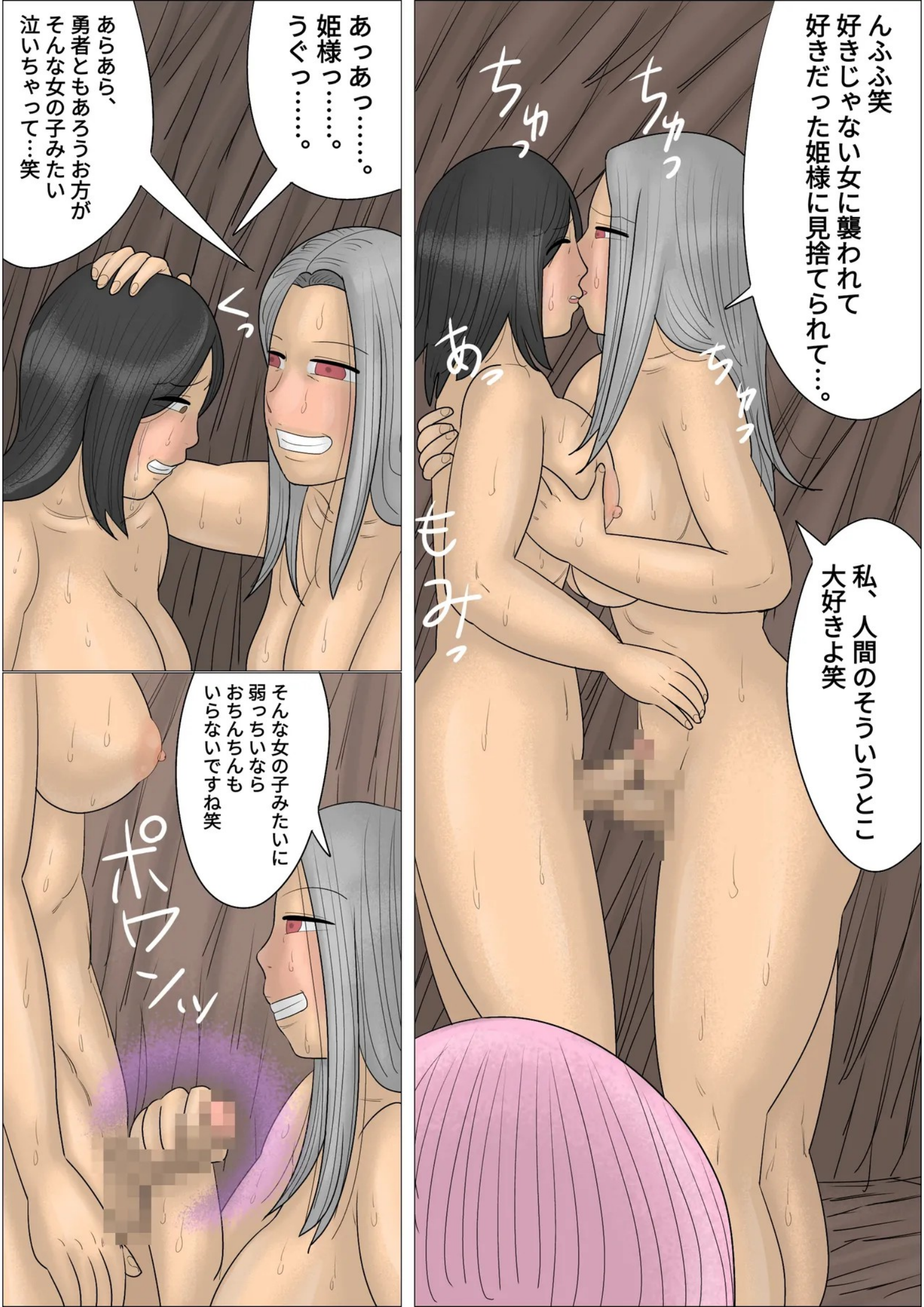
それじゃあ、魔法解いて、記憶を戻してあげるわ笑
ぱちゅ
はあ
えっ
ぱんっぱんっ
あっ
あっ
えっ……。私は……。あっっ……。
なんで…。何やってる……。離せっあっ……。
いっやっ……。あっ…これは…。どういう……。

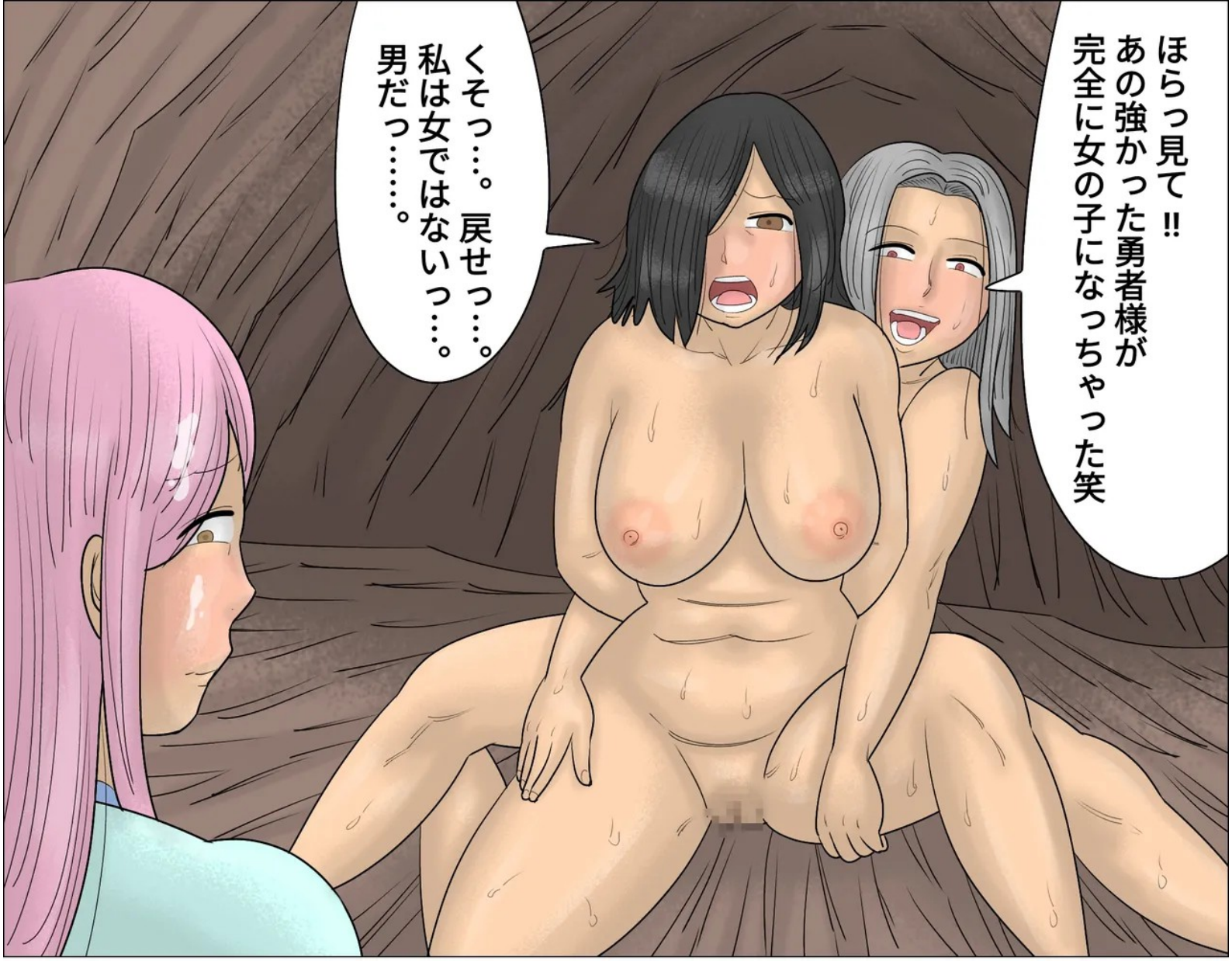

ずちゅっ
ずぢゅ
ああっ、勇者様のケツの穴、超気持ちいですわ～笑
あっ
はっ

姫様とセックスしたかったんでしょうけど、私が先にアナル処女奪っちゃいました笑
ごめんなさいねえ～笑いただいちゃってえ～笑
ぱんっ
ぱちゅっ
ぱちゅ
ぱんっ
ぱちゅっ
ぱちゅっ
あっあっ…。今すぐやめろっ…。離せっ…。

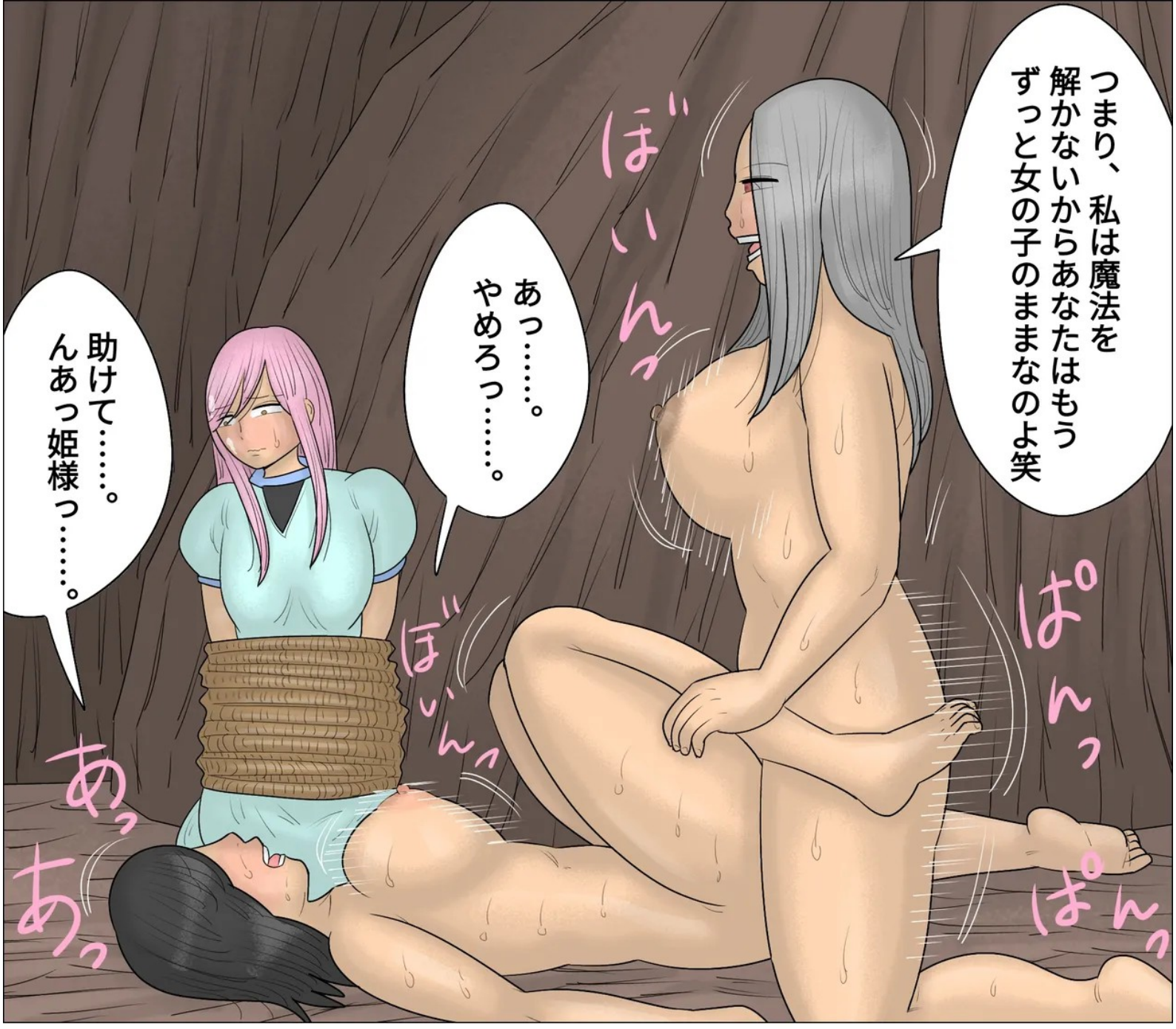
姫様っ……。
あっ…んんっ…
見ないでくださいっ…。
ごめんなさいっ…。
姫様を…。
守ると言って…。
いたのに……。
ぱんっぱんっ
ぼいんっ
はっ
んっ
あっ


もういいです…。
他に剣士を雇います。
今後一切、
私に関わらないで…。
そんな…。
姫様……。
ぱんっ
ぱんっ


んふふ笑
好きじゃない女に襲われて
好きだった姫様に見捨てられて…。
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
あっ
もみっ
私、人間のそういうとこ
大好きよ笑
あっあっ……。
姫様っ……。
うぐっ……。
くっ
あらあら、
勇者ともあろうお方が
そんな女の子みたい
泣いちゃって…笑
そんな女の子みたいに
弱っちいなら
おちんちんも
いらないですね笑
ポロンッ


ほらっ見て‼
あの強かった勇者様が
完全に女の子になっちゃった笑
くそっ…。戻せっ…。
私は女ではないっ…。
男だっ……。

何言ってるの？
ほらっ、おちんちん
ついてないじゃない笑
魔法をかけたものにしか
その魔法は解けない。
あっ
ぬるっ

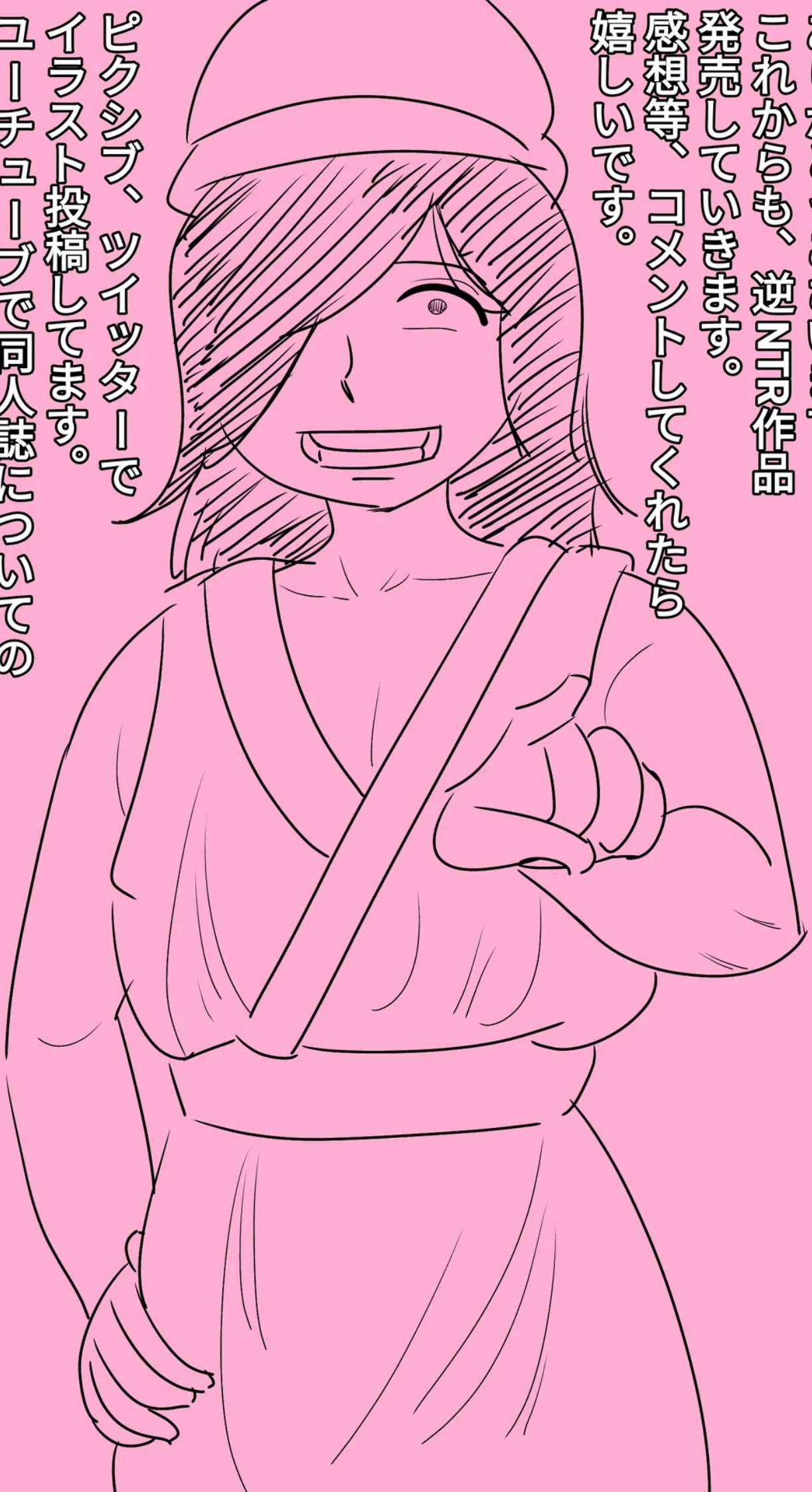

つまり、私は魔法を
解かないからあなたはもう
ずっと女の子のままなのよ笑
ぱいんっ
ぱんっ
あっ……。
やめろっ……。
ぱいんっ
助けて……。
んあっ姫様っ……。
あっ
あっ

頼むっ……。
元の体に戻してくれ…。
お願いだっ…。
あっ
あっ
だーめっ…。
あなたはもう
女の子なんだから。
ずっと私の
性奴隷よ笑
すりすりっ
すりすりっ

おちんちんもついてないから、
姫様を守ることなんてできないし、
姫様と結ばれることなんて
もうないのよ笑
ぐちょっ
ぼぃんっ
ぐちょっ
ぼぃんっ
ぱんっ
ぐちゃっ
ぼぃんっ
ふぁっ
あっ♥

同人誌のご購入、
ありがとうございます。
これからも、逆NTR作品
発売していきます。
感想等、コメントしてくれたら
嬉しいです。

ピクシブ、ツイッターで
イラスト投稿してます。
ユーチューブで同人誌についての
動画も出してます。
フォロー、お願いします。



原作ぺんちゃぺん